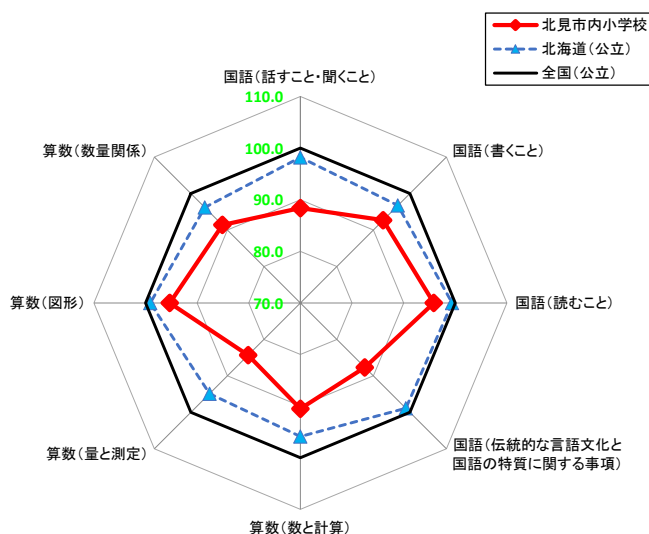


■北見市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:24校、児童数:883人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

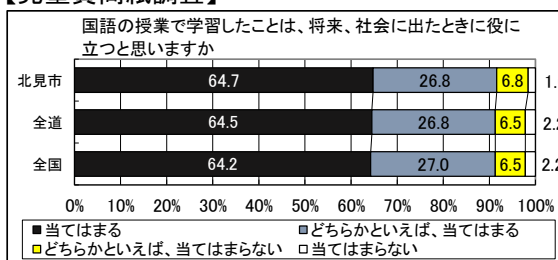
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



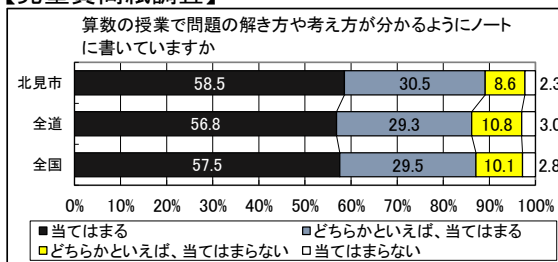
【北見市の平均正答率】

	国語	算数
北見市	58.1	60.8
北海道	62.8	64.5
全国	63.8	66.6

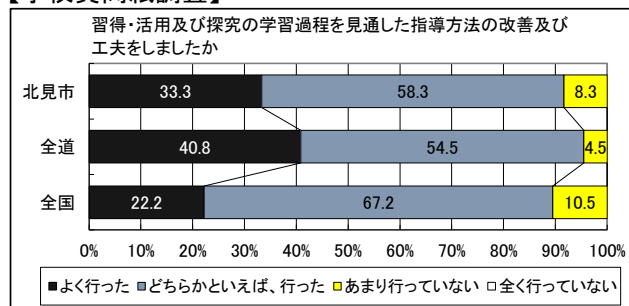
【児童質問紙調査】



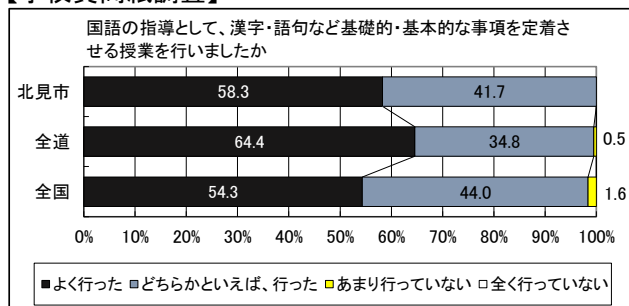
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行ったことにより、言葉の特徴や使い方に理解が深まり、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の授業で問題の解き方や考え方は分かるようにノートに書いている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行ったことにより、見通しをもち筋道を立てて考察する力が向上し、「算数の授業で問題の解き方や考え方は分かるようにノートに書いている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。	

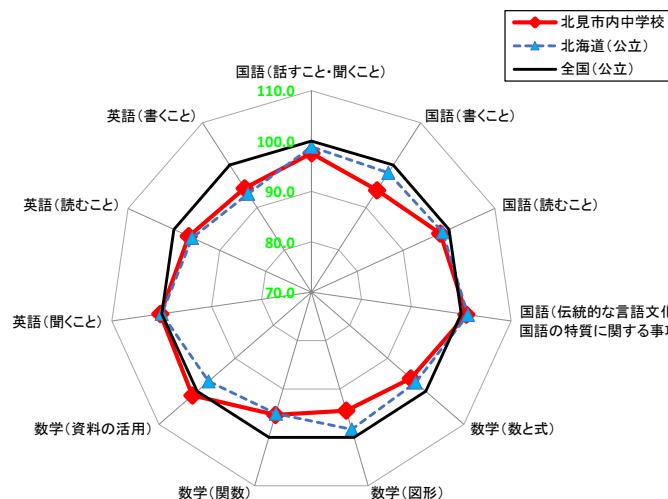
【北見市の学力向上策】

- ◎ 「北見市学力向上3つのスタンダード」(学習環境をつくる・指導技術をみがく・指導方法を工夫する)の取組の推進
- ◎ ICT(実物投影机・デジタルテレビ)の活用による分かりやすい授業づくりの推進
- ◎ 教職員の授業力・指導力向上に向けた指導力向上推進事業等の研修会の実施
- ◎ 家庭と連携した学習習慣の確立と望ましい生活習慣づくりの取組

■北見市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:14校、生徒数:881人)

【教科全体の状況】

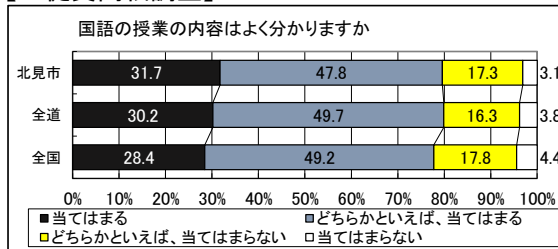
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



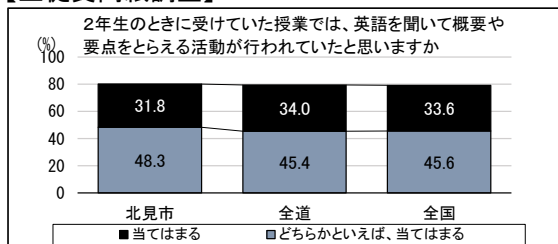
【北見市の平均正答率】

	国語	数学	英語
北見市	71.0	57.8	54.6
北海道	72.1	58.1	54.2
全国	72.8	59.8	56.0

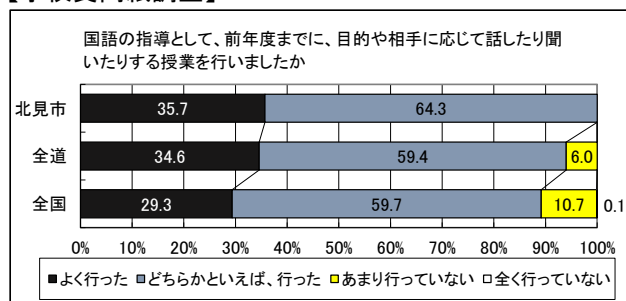
【生徒質問紙調査】



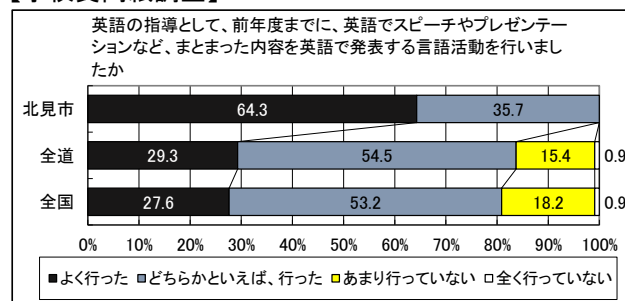
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行ったことにより、思いや考えを伝え合う力が高まり、「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「2年生のときに受けていた授業では、英語を聞いて概要や要点をとらえる活動が行われていた、または、どちらかといえば行われていた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 英語の指導として、英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動をよく行ったことにより、「英語を用いて概要や要点をとらえる活動が行われていた、または、どちらかといえば行われていた」と回答した生徒の割合が増えるとともに、「聞くこと」の領域では、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「英語の指導として、英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

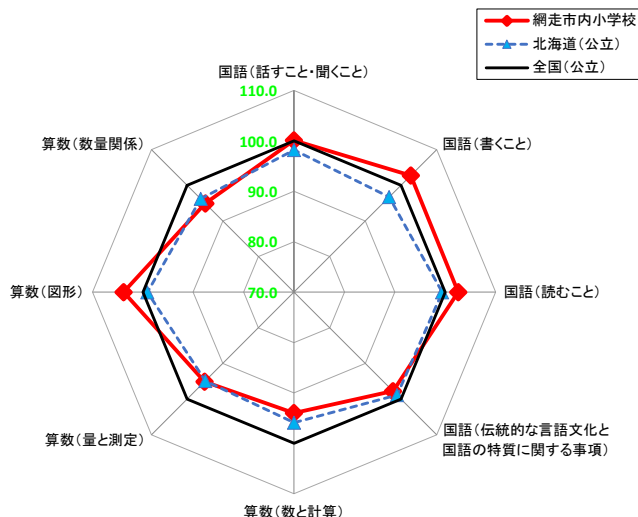
【北見市の学力向上策】

- ◎ 「北見市学力向上3つのスタンダード」(学習環境をつくる・指導技術をみがく・指導方法を工夫する)の取組の推進
- ◎ ICT(実物投影機・デジタルテレビ)の活用による分かりやすい授業づくりの推進
- ◎ 教職員の授業力・指導力向上に向けた指導力向上推進事業等の研修会の実施
- ◎ 家庭と連携した学習習慣の確立と望ましい生活習慣づくりの取組

■網走市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:9校、児童数:238人)

【教科全体の状況】

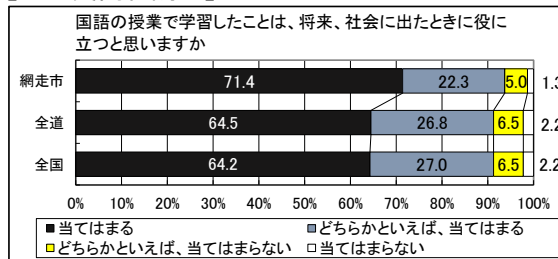
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



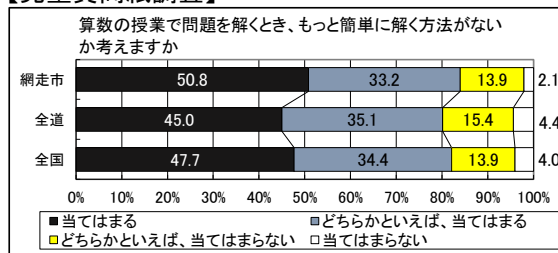
【網走市の平均正答率】

	国語	算数
網走市	64.1	64.3
北海道	62.8	64.5
全国	63.8	66.6

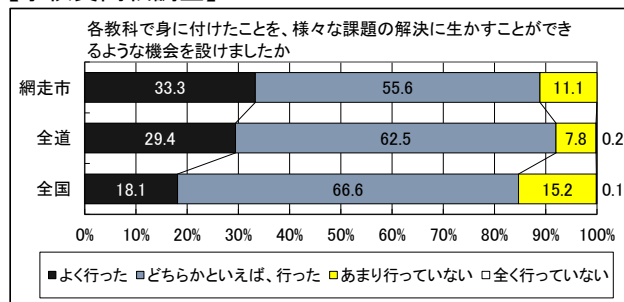
【児童質問紙調査】



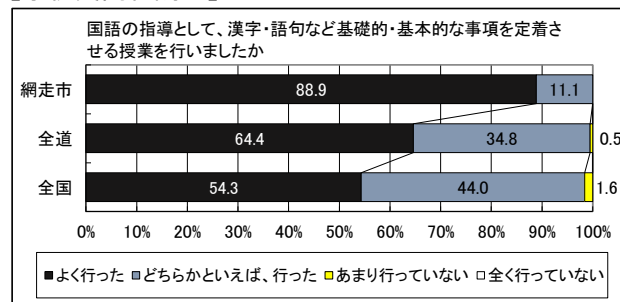
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「聞くこと」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行うことで、学習内容を確実に身に付けることができ、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 算数では、「図形」で全国を上回っている。	○ 「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 「各教科で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。

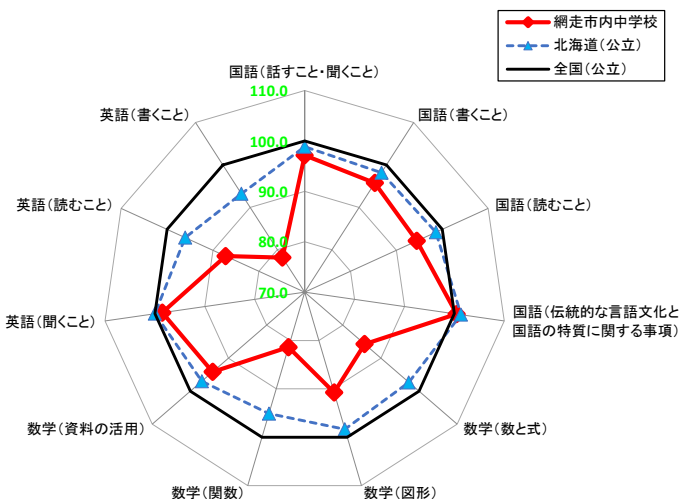
【網走市の学力向上策】

- ◎ 市内全校の公開研究会の実施及び各研究会や研修会への教職員の参加などによる学習指導方法の工夫改善の取組
- ◎ 基礎・基本の定着に向けた算数科における学習支援員の配置による少人数指導の実施
- ◎ 家庭における学習習慣を確立するための生活リズムチェックシートの積極的な活用
- ◎ 自分の考えを文章で表現する市読書感想文コンクールの実施
- ◎ ICT機器を活用した効果的な授業改善を推進するための実物投影機と大型テレビの設置

■網走市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、生徒数:256人)

【教科全体の状況】

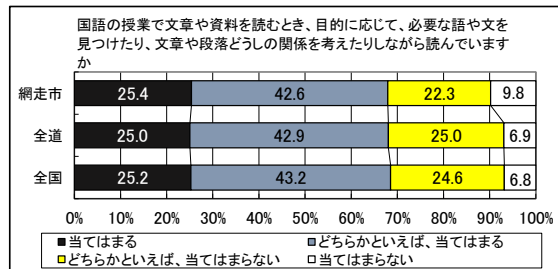
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



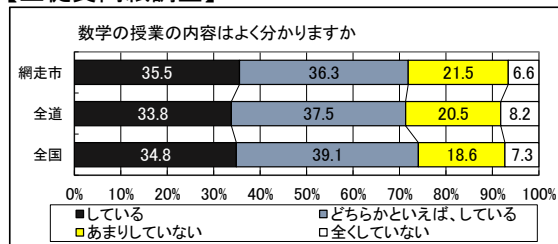
【網走市の平均正答率】

	国語	数学	英語
網走市	70.4	53.0	49.8
北海道	72.1	58.1	54.2
全国	72.8	59.8	56.0

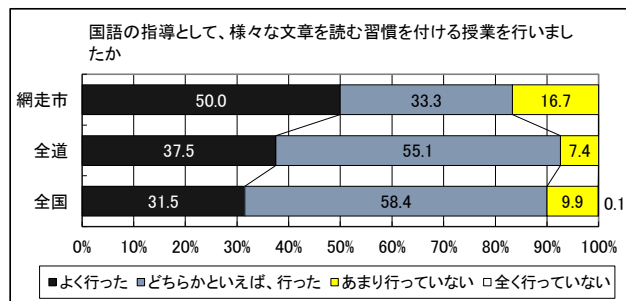
【生徒質問紙調査】



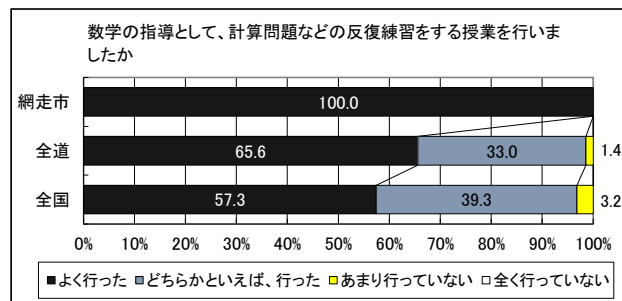
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行ったことにより、文章の構造を捉えたり、内容を解釈したりする力が高まり、「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいます」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいます」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行うなど、個に応じた指導の充実を図ったことにより、「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 全ての学校で、「数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った」と回答している。	

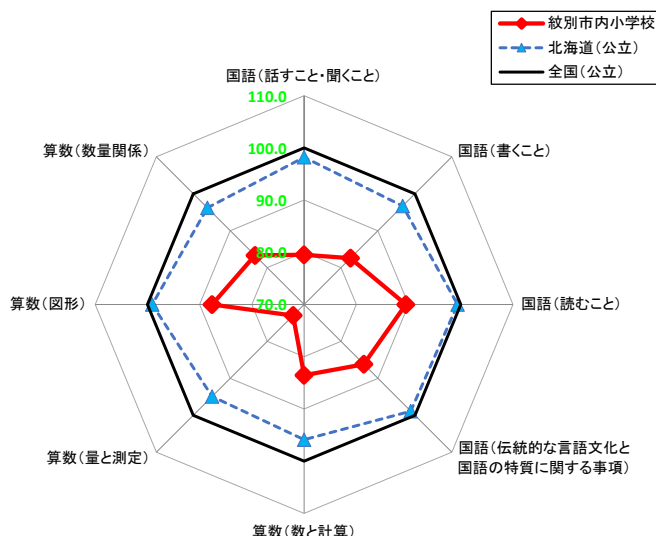
【網走市の学力向上策】

- ◎ 市内全校の公開研究会の実施及び各研究会や研修会への教職員の参加などによる学習指導方法の工夫改善の取組
- ◎ 基礎・基本の定着に向けた算数科における学習支援員の配置による少人数指導の実施
- ◎ 家庭における学習習慣を確立するための生活リズムチェックシートの積極的な活用
- ◎ 自分の考えを文章で表現する市読書感想文コンクールの実施
- ◎ ICT機器を活用した効果的な授業改善を推進するための実物投影機と大型テレビの設置

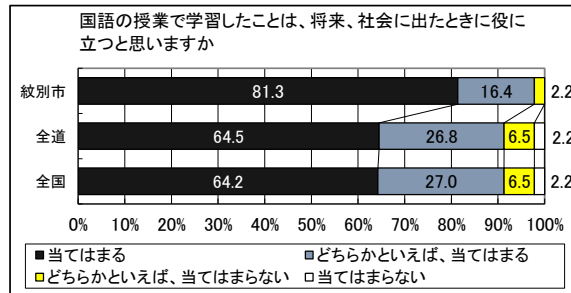
■紋別市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:134人)

【教科全体の状況】

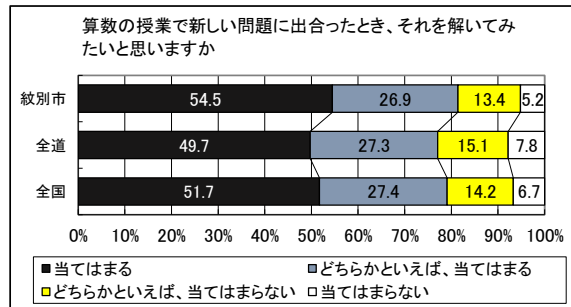
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



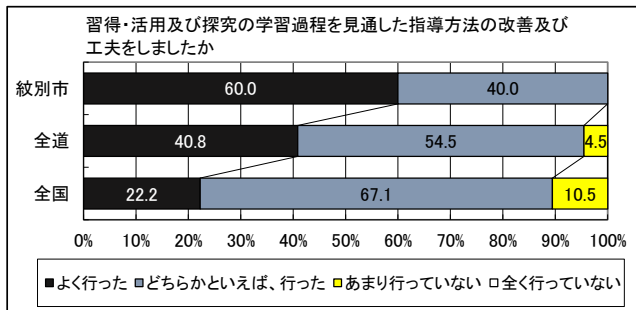
【児童質問紙調査】



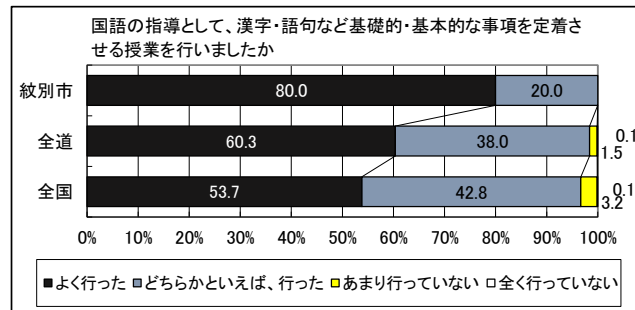
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行うなど、個に応じた指導の充実を図ったことにより、児童の学習意欲が向上するとともに有用感が高まり、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の工夫及び改善を行うなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ったことにより、児童の学習意欲が向上し、「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。

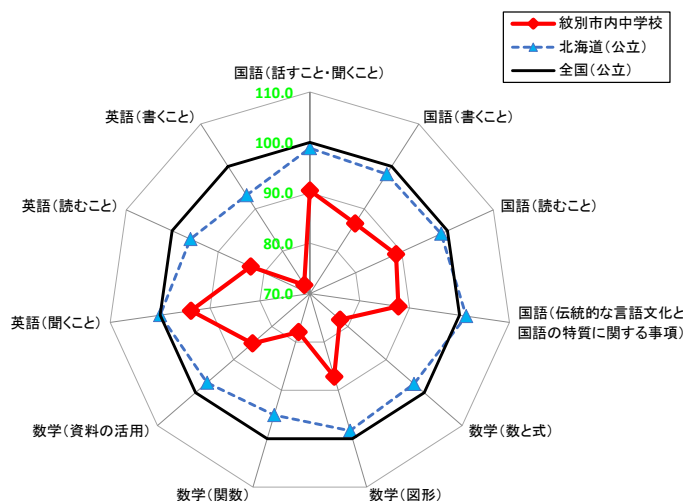
【紋別市の学力向上策】

- ◎ 「子ども未来塾」の開催
- ◎ 巡回図書館司書の配置
- ◎ 「家庭教育ガイドブック」の配付
- ◎ 教職員研修事業の推進
- ◎ 授業改善推進チーム活用事業、授業改善等支援事業の推進
- ◎ 小中連携ネットワーク会議の実施
- ◎ 学習サポーターの配置、学習サポーターによる「学紋塾」「夏休みパワーアップタイム」の実施

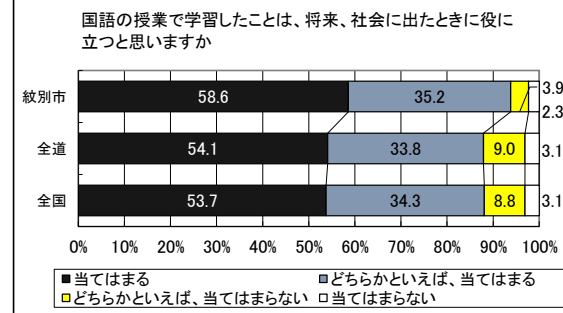
■紋別市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:128人)

【教科全体の状況】

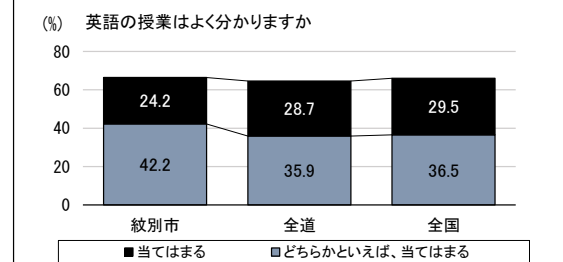
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



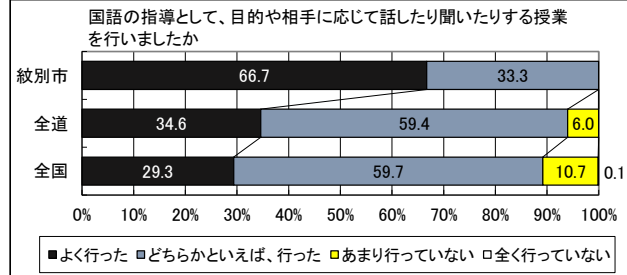
【生徒質問紙調査】



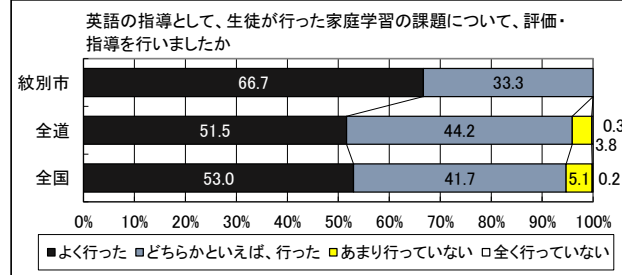
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行ったことで、生徒の考えを深めたり広げたりすることができたことにより、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「英語の授業はよく分かる、または、どちらかといえば分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 英語の指導として、生徒が行った家庭学習の課題について、評価・指導を行うことで、基礎的・基本的な学習内容が定着し、「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「英語の指導として、生徒が行った家庭学習の課題について、評価・指導を行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。	

【紋別市の学力向上策】

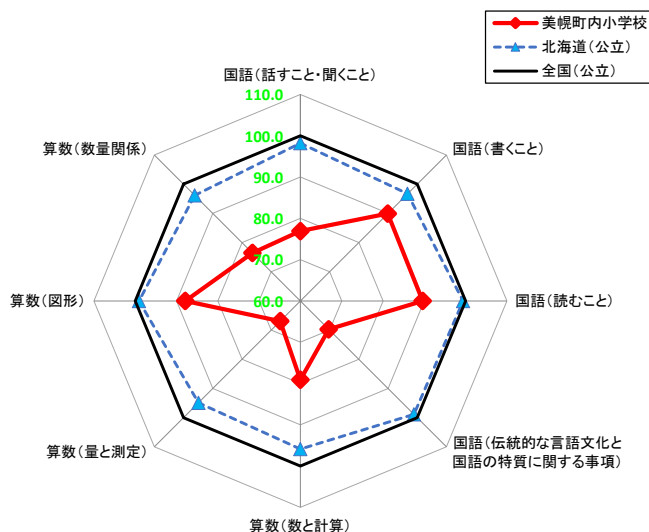
- ◎ 「子ども未来塾」の開催
- ◎ 巡回図書館司書の配置
- ◎ 「家庭教育ガイドブック」の配付
- ◎ 教職員研修事業の推進
- ◎ 授業改善推進チーム活用事業、授業改善等支援事業の推進
- ◎ 小中連携ネットワーク会議の実施
- ◎ 学習サポーターの配置、学習サポーターによる「学紋塾」「夏休みパワーアップタイム」の実施

■美幌町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:66人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

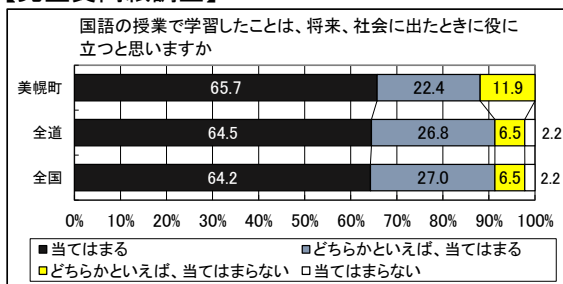
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



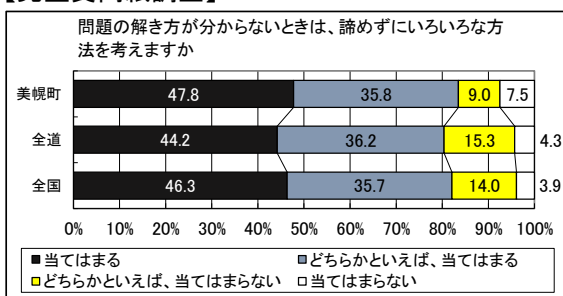
【美幌町の平均正答率】

国語	算数
51.4	53.2

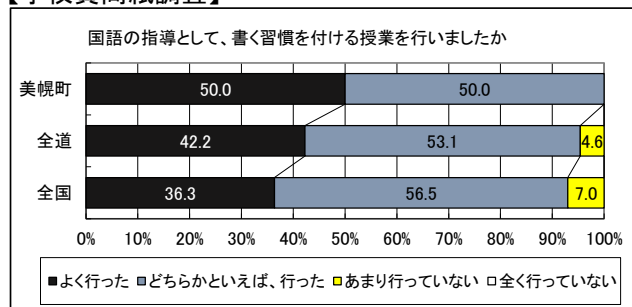
【児童質問紙調査】



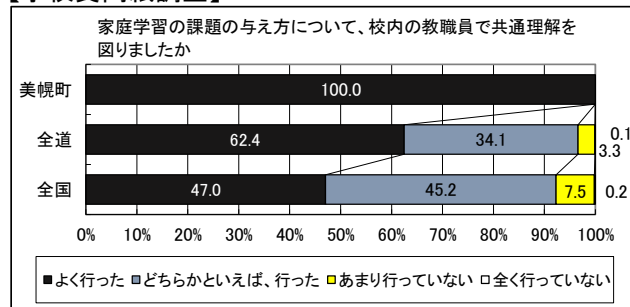
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「書くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行ったことにより、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする力が高まり、「書くこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
児童質問紙	○ 「問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図ったことにより、児童に家庭学習の習慣が身に付くとともに、粘り強く学習に取り組むことができるようになり、「問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 全ての学校で、「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った」と回答している。	

【美幌町の学力向上策】

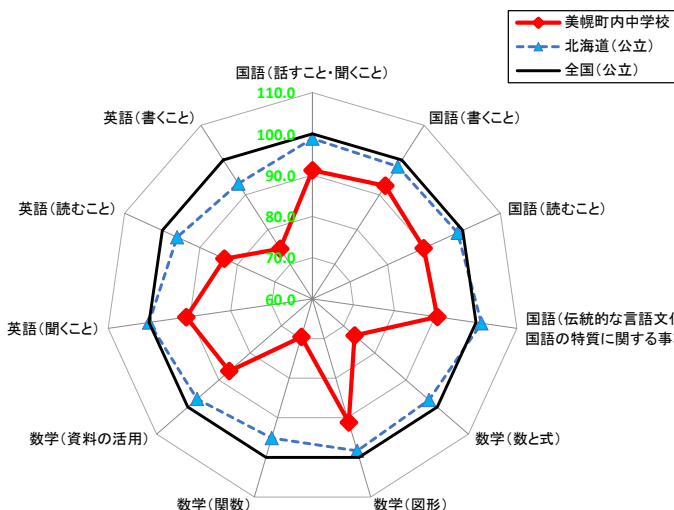
- ◎ 「美幌町学力向上3つのスタンダード」(学習環境をつくる・指導技術をみがく・指導方法を工夫する)の取組の推進
- ◎ ICT(実物投影機・デジタルテレビ)の活用による分かりやすい授業づくりの推進
- ◎ 教職員の授業力・指導力向上に向けた指導力向上推進事業等の研修会の実施
- ◎ 家庭と連携した学習習慣の確立と望ましい生活習慣づくりの取組

■美幌町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:151人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

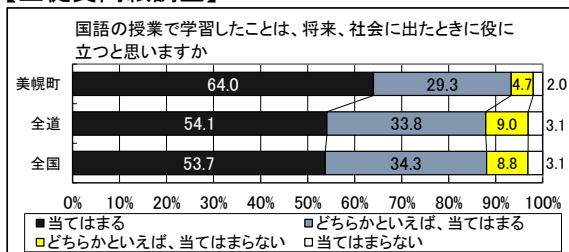
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



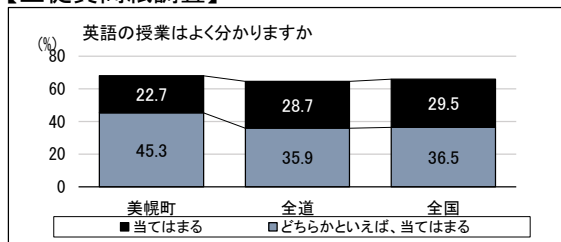
【美幌町の平均正答率】

国語	数学	英語
66.2	48.7	46.8

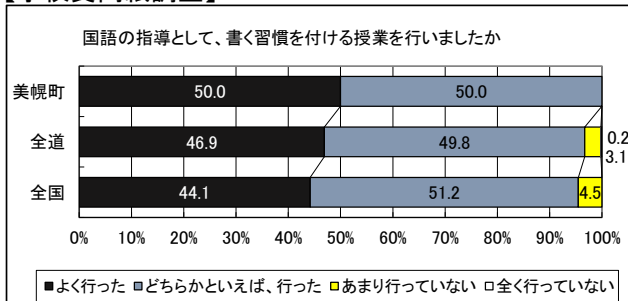
【生徒質問紙調査】



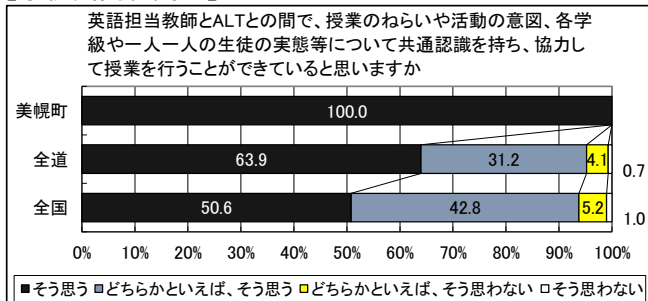
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「書くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行ったことにより、目的や意図に応じた表現について実感を持った理解が進み、国語の「書くこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「英語の授業はよく分かる、または、どちらかといえばよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 英語担当教師とALTとの間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行ったことにより、生徒の学習意欲が向上し、英語の「聞くこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 全ての学校が、「英語担当教師とALTとの間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができていると思う」と回答している。	

【美幌町の学力向上策】

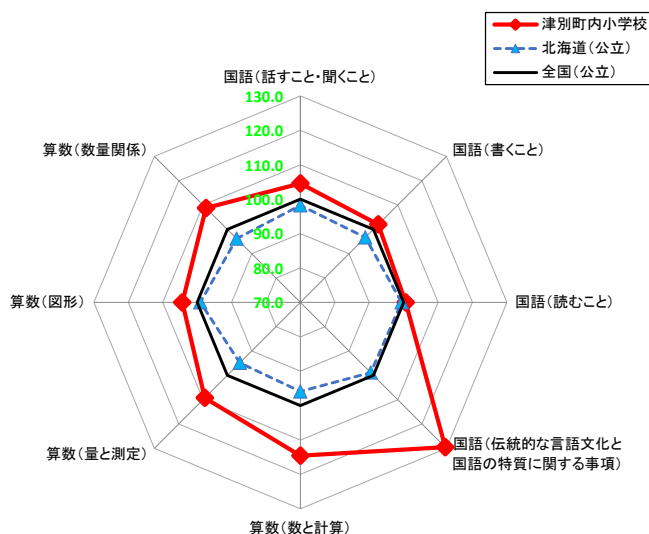
- ◎ 「美幌町学力向上3つのスタンダード」(学習環境をつくる・指導技術をみがく・指導方法を工夫する)の取組の推進
- ◎ ICT(実物投影機・デジタルテレビ)の活用による分かりやすい授業づくりの推進
- ◎ 教職員の授業力・指導力向上に向けた指導力向上推進事業等の研修会の実施
- ◎ 家庭と連携した学習習慣の確立と望ましい生活習慣づくりの取組

■津別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:15人)

【教科全体の状況】

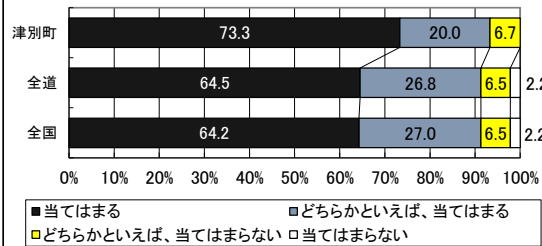
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



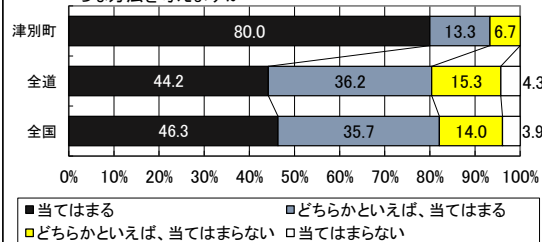
【児童質問紙調査】

国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



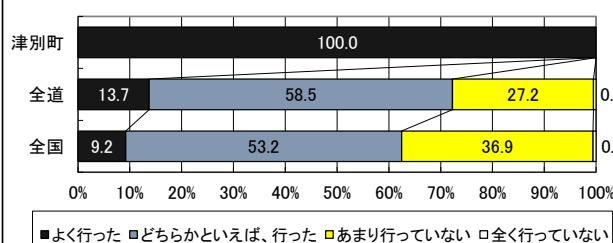
【児童質問紙調査】

算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか



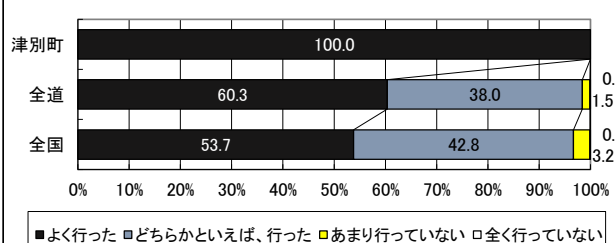
【学校質問紙調査】

国語の指導として、発展的な学習の指導を行いましたか



【学校質問紙調査】

算数の指導として、補充的な学習の指導を行いましたか



【分析】

教科	○ 国語では、全ての領域で全国及び全道を上回っている。 ○ 算数では、全ての領域で全国及び全道を上回っている。	○ 学校は、国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行ったことにより、国語の全ての領域で、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 学校は、算数の指導として、補充的な学習を行うなど、個に応じた指導の充実を図ったことにより、児童の学習意欲が向上し、「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、発展的な学習の指導を行っている。 ○ 算数の授業として、補充的な学習の指導を行っている。	

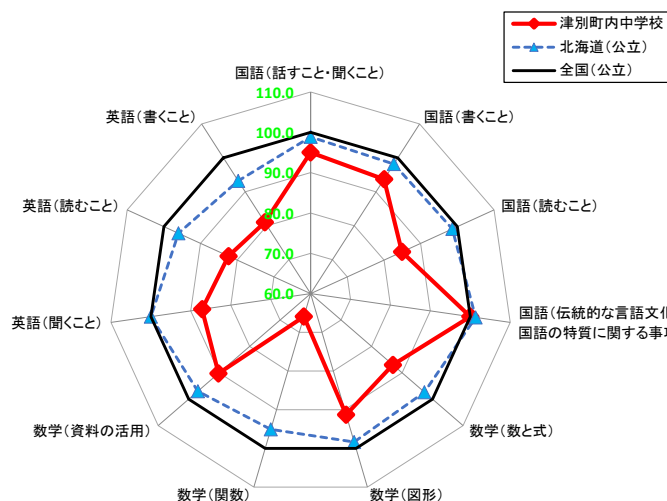
【津別町の学力向上策】

- ◎ 「できた、分かった、楽しい」が実感できる多様な学習の推進
- ◎ ICT教育環境の整備
- ◎ 学校図書館の充実
- ◎ 家庭学習時間の確保(家庭との連携)
- ◎ 学習支援員の配置

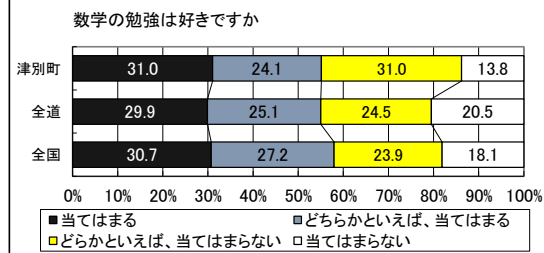
■津別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:31人)

【教科全体の状況】

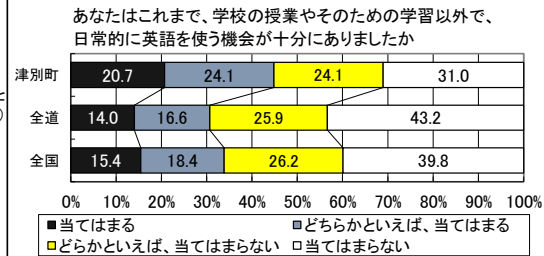
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



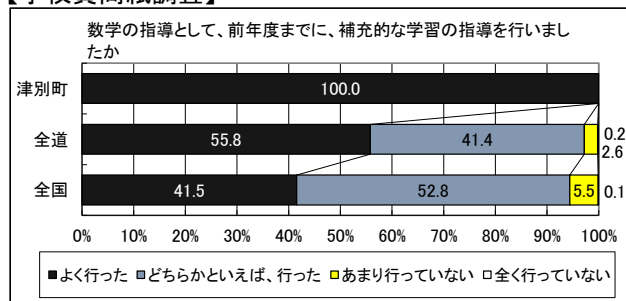
【生徒質問紙調査】



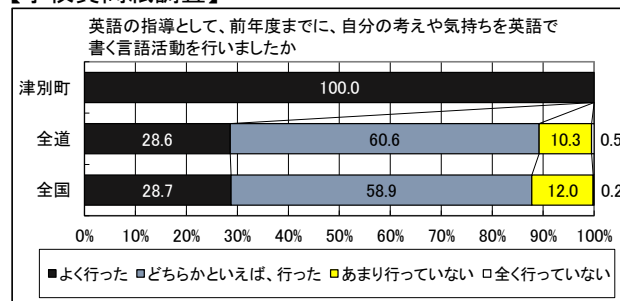
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国と同じである。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行い、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られ、「数学の勉強が好き」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。 ○ 英語の指導として、自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動を行ったことにより、生徒は英語を学ぶことの有用感が高まり、生徒の学習意欲が喚起され、「あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にあった」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学の勉強が好き」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にあった」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行った。 ○ 英語の指導として、前年度までに、自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動を行った。	

【津別町の学力向上策】

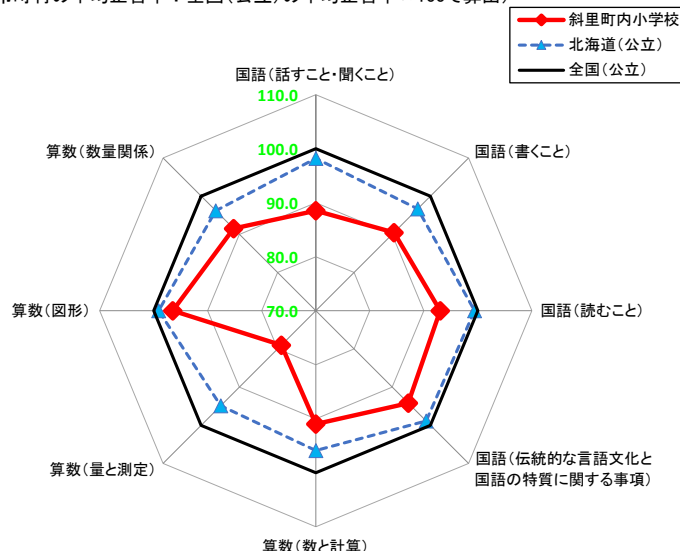
- ◎ 「できた、分かった、楽しい」が実感できる多様な学習の推進
- ◎ ICT教育環境の整備
- ◎ 学校図書館の充実
- ◎ 家庭学習時間の確保(家庭との連携)
- ◎ 学習支援員の配置

■斜里町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:75人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



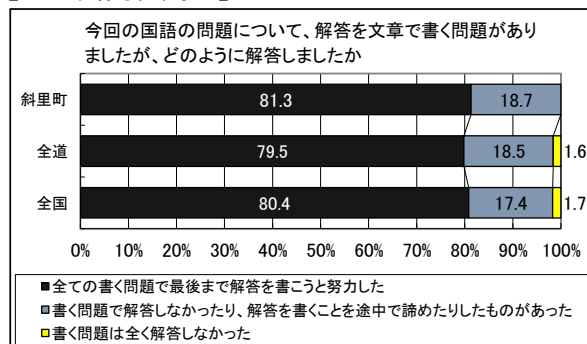
【全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合】

	国語	算数
斜里町	34.6	25.3
全国との差	11.1	5.8

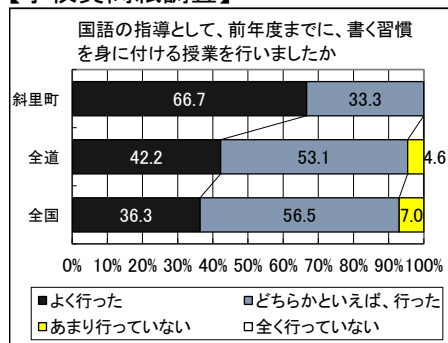
【斜里町の平均正答率】

	国語	算数
斜里町	58.6	60.0
全国との差	-5.2	-6.6
全道との差	-4.2	-4.5

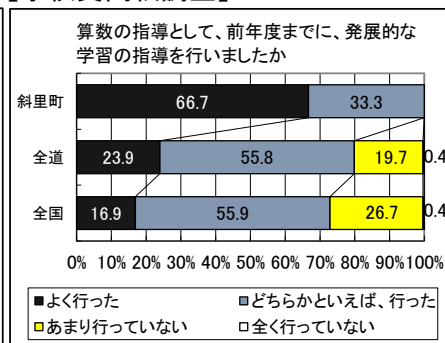
【児童質問紙調査】



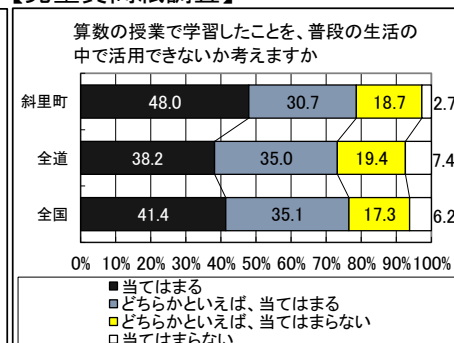
【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の授業として、前年度までに、書く習慣を身に付ける授業を行ったことにより、児童の学習意欲が向上し、「今回の国語の問題について、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 算数の授業として、前年度までに、発展的な学習の指導を行ったことにより、授業で身に付けたことを日常生活と結び付けて考えることができるようになり、「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「今回の国語の問題について、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
	○ 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
	○ 「国語の授業として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	
	○ 「算数の授業として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【斜里町の学力向上策】

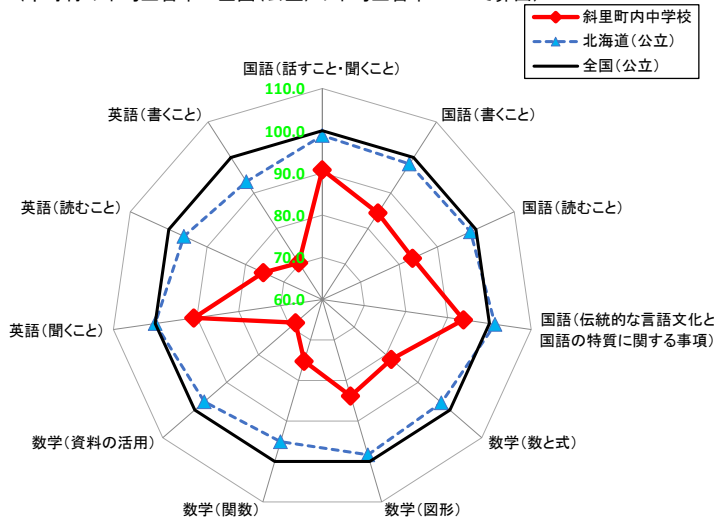
- ◎ 義務教育学校における小中一貫教育及び中学校を軸とした小中連携教育の充実
- ◎ 町内全校における、特色ある学校づくりを支援する校長提案型事業の実施
- ◎ 教育活動支援講師の配置と放課後や長期休業中の学び直しの機会の提供等、きめ細かな学習環境の整備
- ◎ 学習習慣や生活習慣の定着を目指した年8回の土曜授業の実施

■斜里町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:89人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



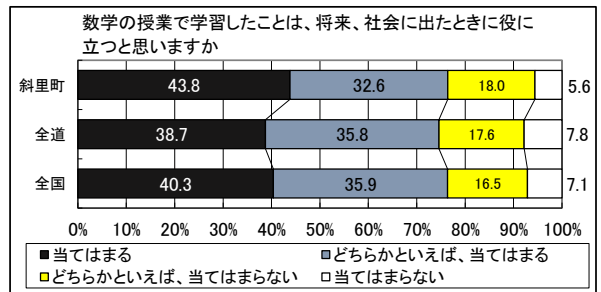
【全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる生徒の割合】

	国語	数学	英語
斜里町	34.7	43.8	47.3
全国との差	13.3	23.3	25.6

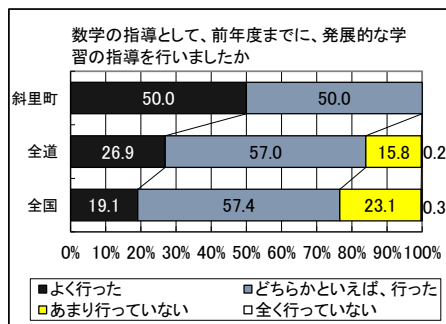
【斜里町の平均正答率】

	国語	数学	英語
斜里町	63.8	46.8	44.8
全国との差	-9.0	-13.0	-11.2
全道との差	-8.3	-11.3	-9.4

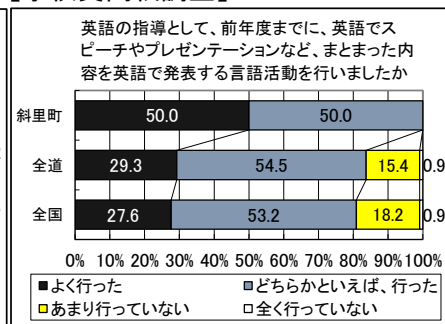
【生徒質問紙調査】



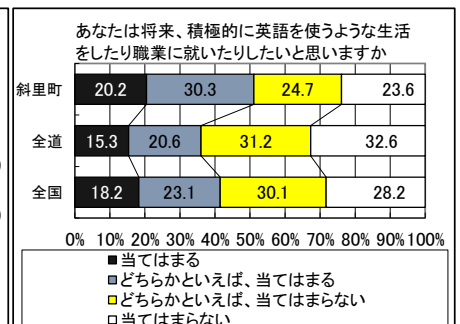
【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行ったことにより、生徒の学習意欲が向上し、「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。
生徒質問紙	○ 「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「将来、積極的に英語を使うような生活をし、職業に就いたりしたいと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 英語の指導として、前年度までに、英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行ったことにより、英語を使う意欲が高まり、「将来、積極的に英語を使うような生活をし、職業に就いたりしたいと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「英語の指導として、前年度までに、英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【斜里町の学力向上策】

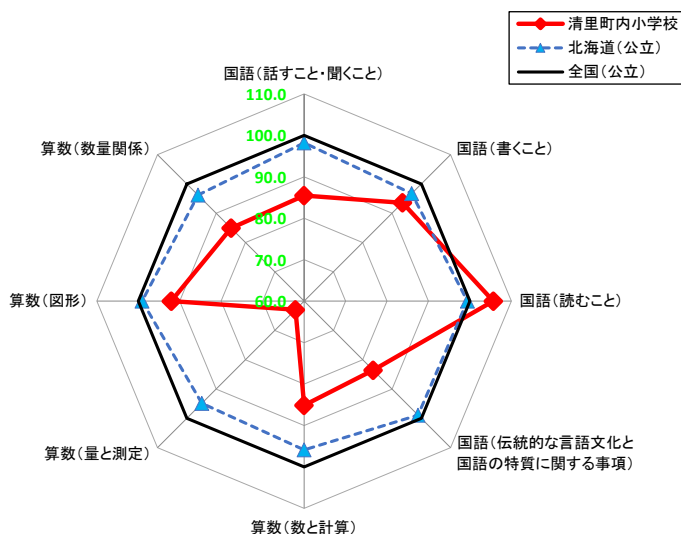
- ◎ 義務教育学校における小中一貫教育及び中学校を軸とした小中連携教育の充実
- ◎ 町内全校における、特色ある学校づくりを支援する校長提案型事業の実施
- ◎ 教育活動支援講師の配置と放課後や長期休業中の学び直しの機会の提供等、きめ細かな学習環境の整備
- ◎ 学習習慣や生活習慣の定着を目指した年8回の土曜授業の実施

■清里町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:34人)

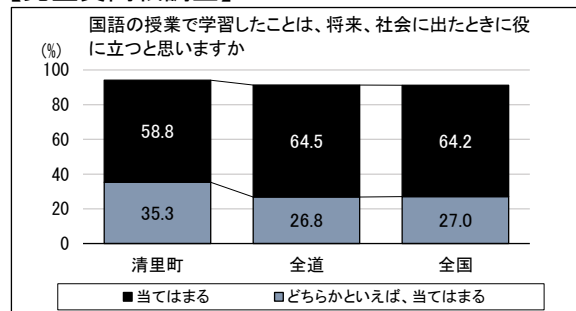
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

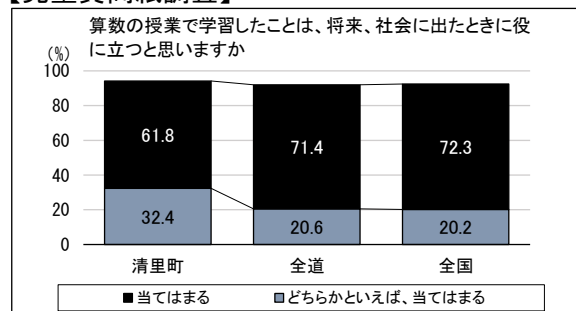
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



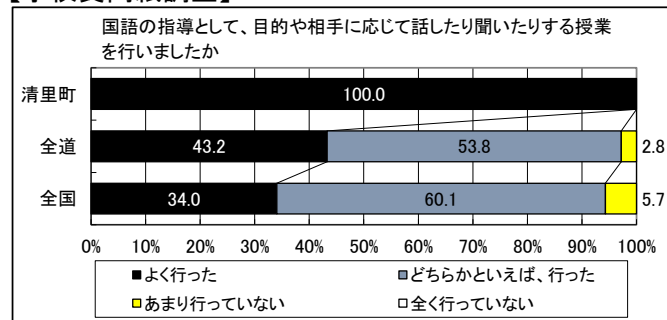
【児童質問紙調査】



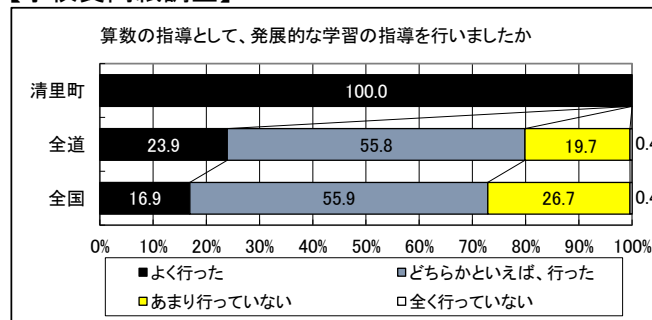
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国を上回っている。	○ 学校は、国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行ったことにより、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回り、国語の「読むこと」が全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 学校は、算数の指導として、発展的な学習の指導を行ったことにより、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う、または、どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	
	○ 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う、または、どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
	○ 国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った。	
	○ 算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った。	

【清里町の学力向上策】

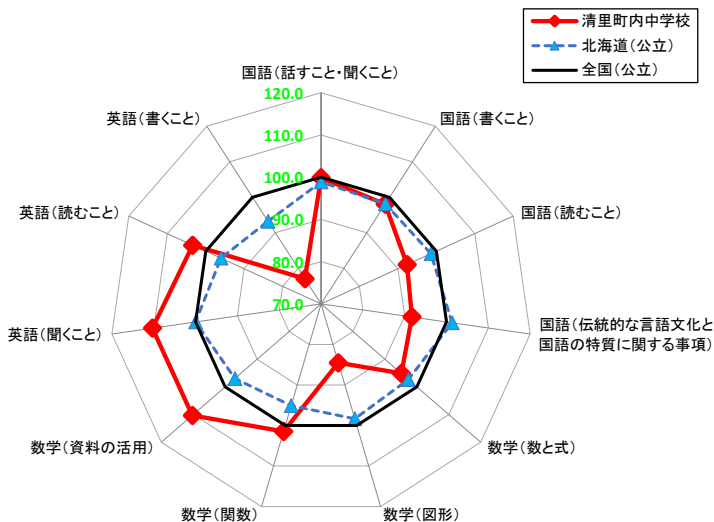
- ◎ 小学校・中学校・高等学校の連携による長期休業期間中の補足的な学習サポート教室の実施
- ◎ 個別支援や習熟度別指導のための支援員の配置
- ◎ 小学校・中学校・高等学校への外国人英語講師の派遣

■清里町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:29人)

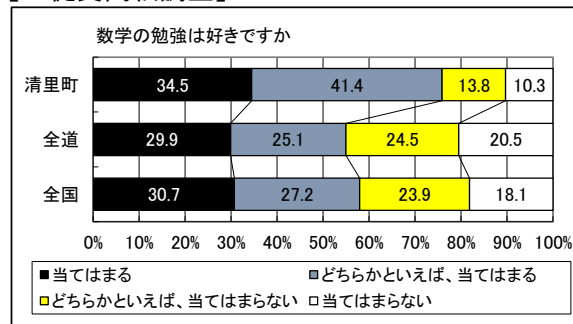
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

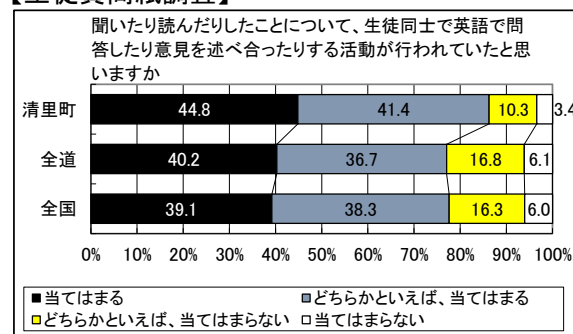
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



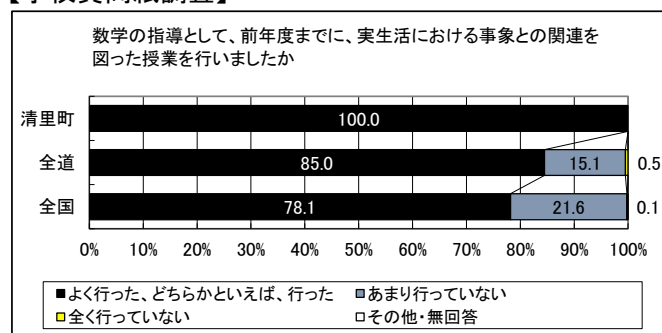
【生徒質問紙調査】



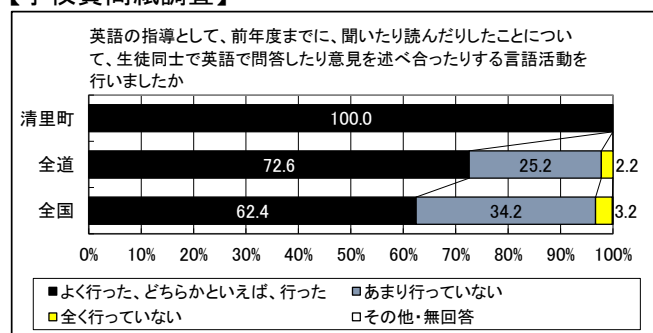
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「関数」「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。	○ 学校は、数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、「数学の授業が好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回り、数学の2つの領域で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 学校は、英語の指導として、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行ったことにより、英語の2つの領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った。 ○ 英語の指導として、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行った。	

【清里町の学力向上策】

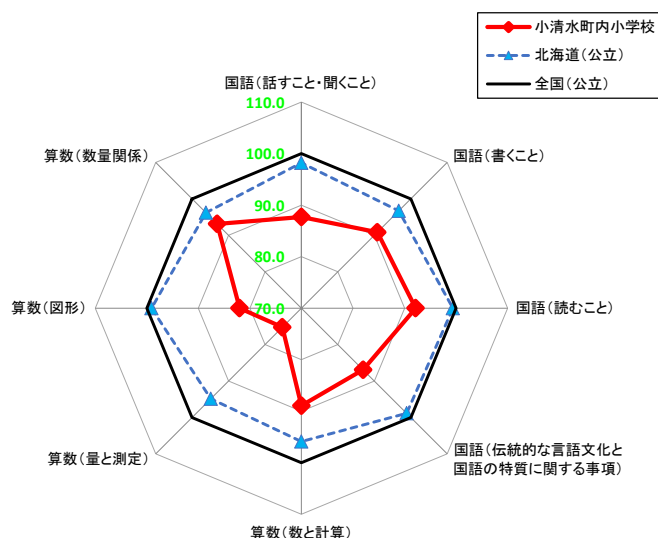
- ◎ 小学校・中学校・高等学校の連携による長期休業期間中の補足的な学習サポート教室の実施
- ◎ 特別な教育的支援を必要とする生徒への生活や学習の支援強化のための支援員の増員
- ◎ 小学校・中学校・高等学校への外国人英語講師の派遣

■小清水町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:31人)

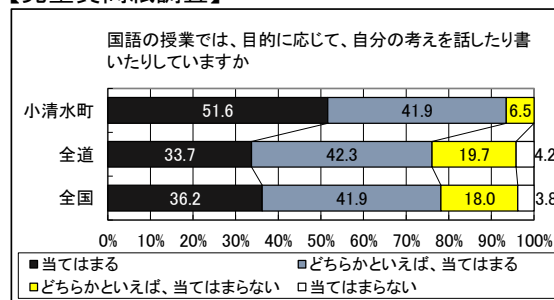
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

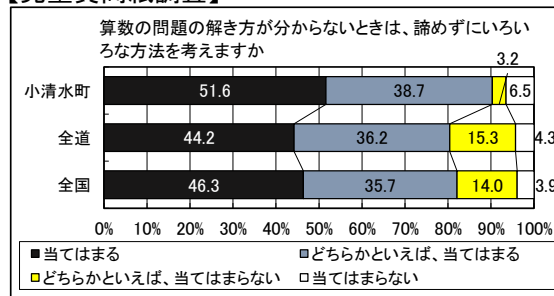
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



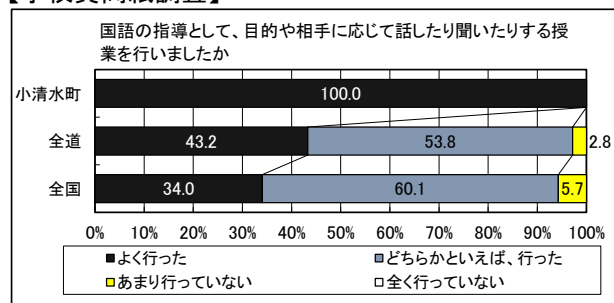
【児童質問紙調査】



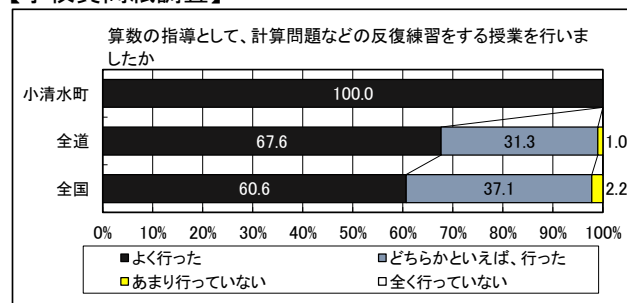
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「数量関係」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行ったことにより、「目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行ったことにより、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られるとともに、学習のし方が身に付き、「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った。 ○ 算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った。	

【小清水町の学力向上策】

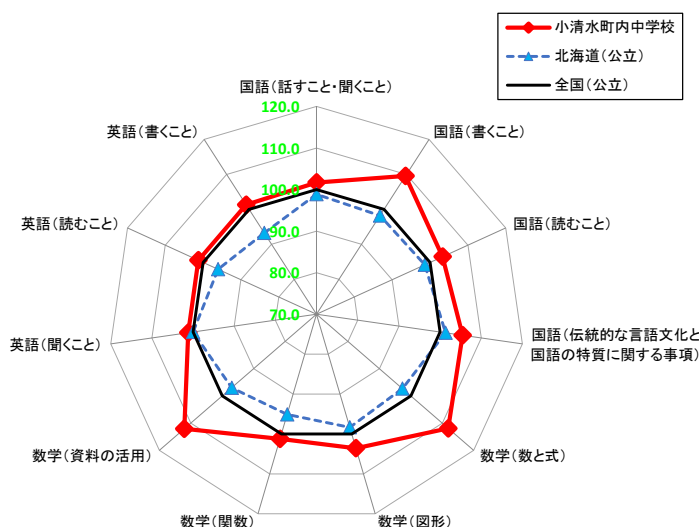
- ◎ 土曜授業の実施による反復学習の時間の確保
- ◎ 小中一貫教育による義務教育9年間を通じた教育課程の編成と系統的な教育を施すための新しい教育づくりの推進
- ◎ 生涯を通じた学習環境の充実や学校・家庭・地域の連携

■小清水町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:21人)

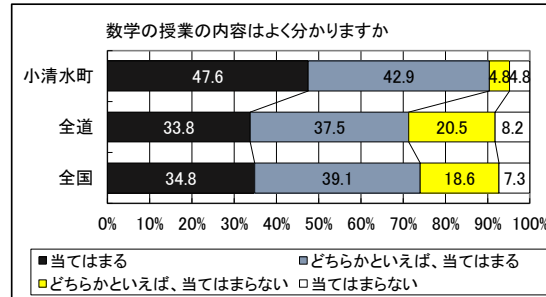
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

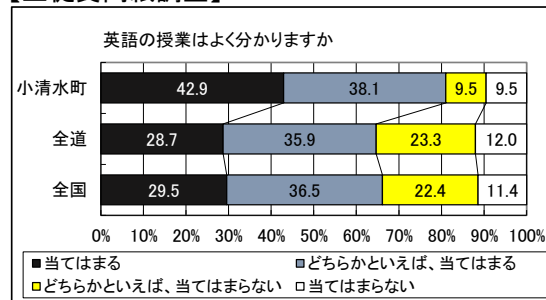
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



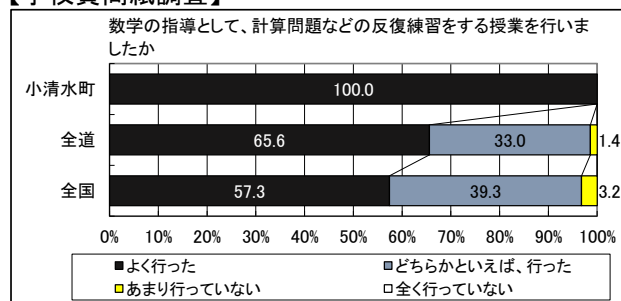
【生徒質問紙調査】



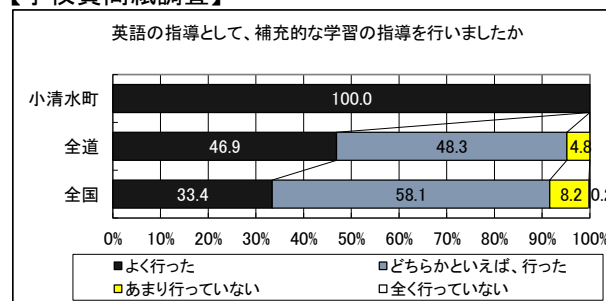
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 数学では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 英語では、全ての領域で全国を上回っている。	○ 学校は、数学の指導として、計算問題などの反復練習をしたことにより、「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が全国を上回るとともに、数学の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 学校は、英語の指導として、補充的な学習を行ったことにより、「英語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が全国を上回るとともに、英語の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った。 ○ 英語の指導として、補充的な学習の指導を行った。	

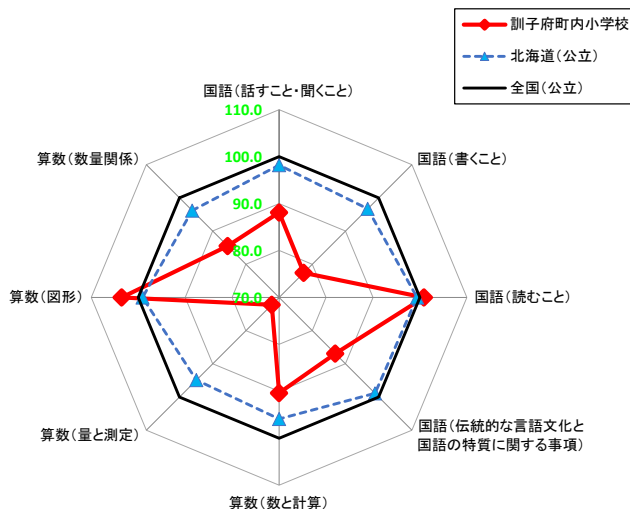
【小清水町の学力向上策】

- ◎ 土曜授業の実施による反復学習の時間の確保
- ◎ 小中一貫教育による義務教育9年間を通じた教育課程の編成と系統的な教育を施すための新しい教育づくりの推進
- ◎ 生涯を通じた学習環境の充実や学校・家庭・地域の連携

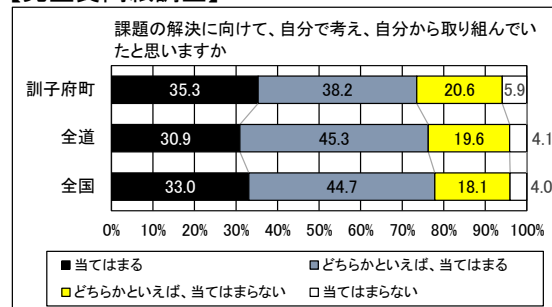
■訓子府町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:34人)

【教科全体の状況】

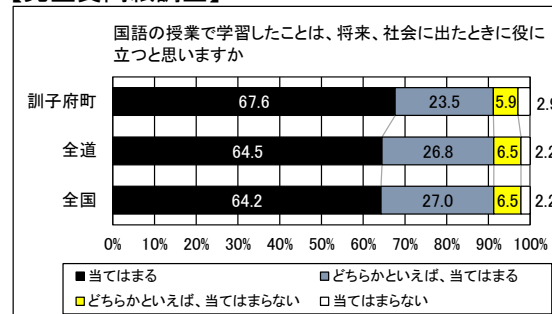
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



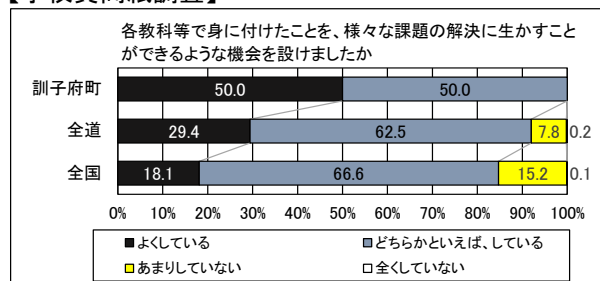
【児童質問紙調査】



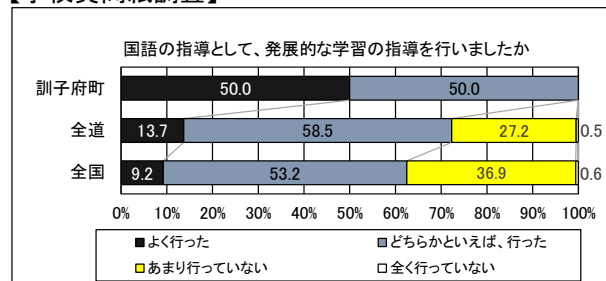
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国を上回っている。	○ 学校が、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けたことにより、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 算数では、「図形」で全国を上回っている。	○ 学校が、国語の指導として、発展的な学習の指導を行ったことにより、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国を上回るとともに、国語の「読むこと」で全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
	○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	
	○ 「各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	
	○ 「国語の指導として、発展的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

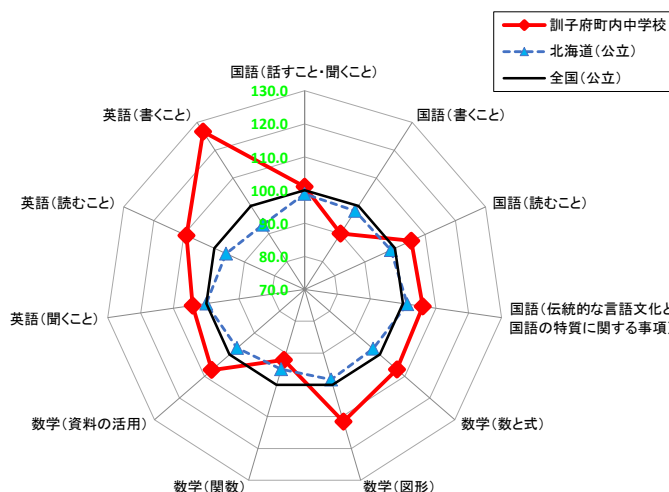
【訓子府町の学力向上策】

- ◎ 町費負担臨時講師を活用したチーム・ティーチングや習熟度別少人数指導の充実
- ◎ 放課後や長期休業中の学習サポートの継続的な実施
- ◎ 児童の読書意欲の向上を図る図書室の整備と蔵書数の充実
- ◎ 地域の多様な人材や施設などの地域資源を生かした教育の充実

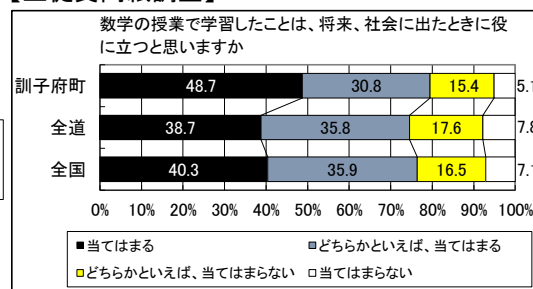
■訓子府町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:39人)

【教科全体の状況】

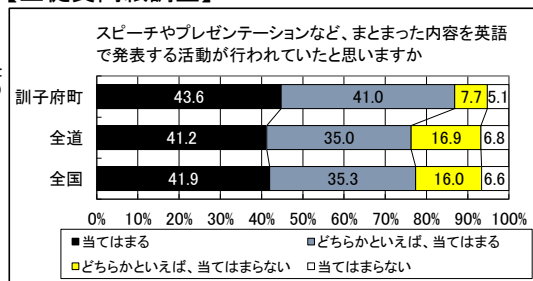
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



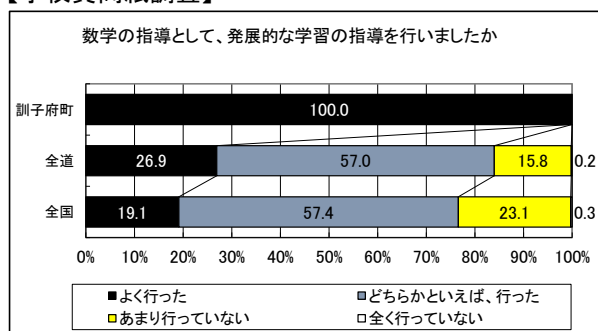
【生徒質問紙調査】



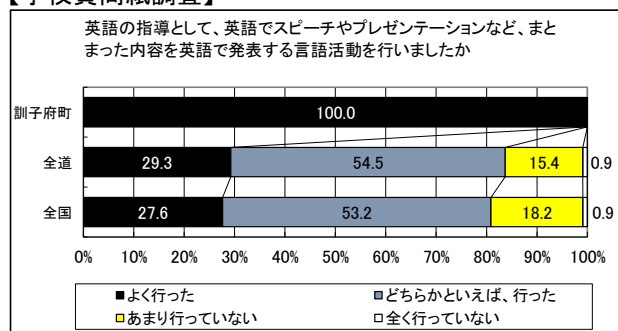
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「数と式」「図形」「資料の活用」で全国を上回っている。	○ 学校が、数学の指導として、発展的な学習の指導を行ったことにより、「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した生徒の割合が、全国を上回り、数学の「数と式」「図形」「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 英語では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 学校が、英語の指導として、英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行ったことにより、英語の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 数学の指導として、発展的な学習の指導を行った。 ○ 英語の指導として、英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行った。	

【訓子府町の学力向上策】

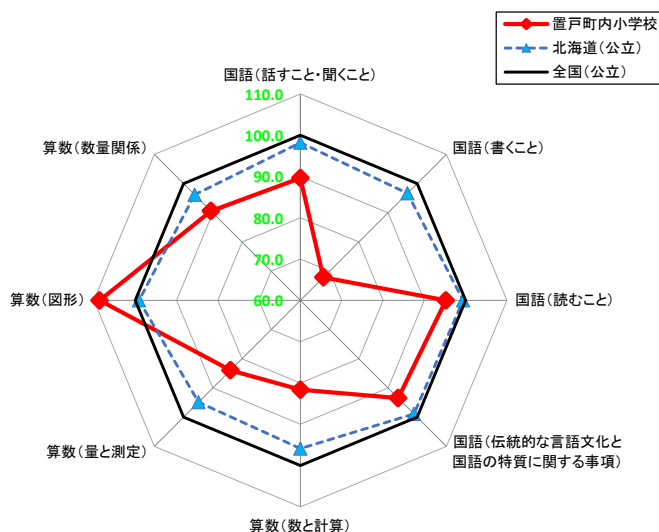
- ◎ 町費負担臨時講師を活用したチーム・ティーチングや習熟度別少人数指導の充実
- ◎ 放課後や長期休業中の学習サポートの継続的な実施
- ◎ 生徒の読書意欲の向上を図る図書室の整備と蔵書数の充実
- ◎ 地域の多様な人材や施設などの地域資源を生かした教育の充実

■置戸町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:18人)

【教科全体の状況】

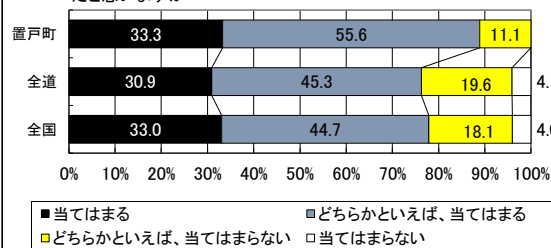
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



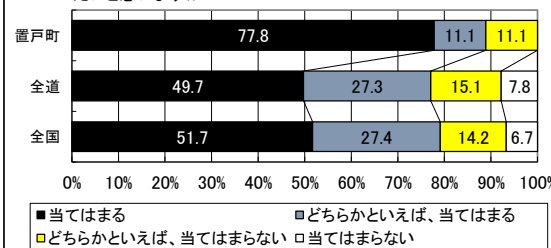
【児童質問紙調査】

課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか



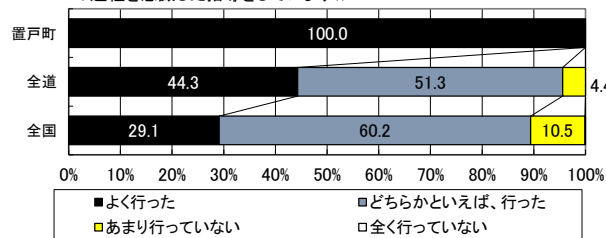
【児童質問紙調査】

算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか



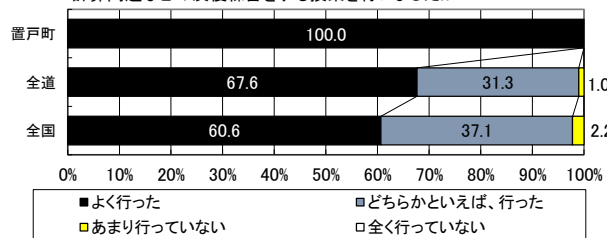
【学校質問紙調査】

総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか



【学校質問紙調査】

調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国を上回っている。	○ 学校は、総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしたことにより、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたい」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 学校は、算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行ったことにより、基礎基本が定着し、「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたい」と回答した児童の割合が、全国を上回り、算数の「図形」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をした。 ○ 調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行った。	

【置戸町の学力向上策】

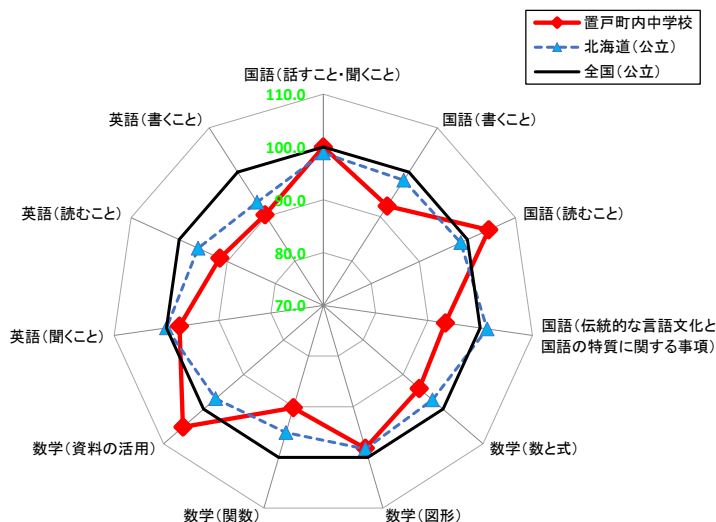
- ◎ 児童の基礎学力の定着に向けた学習支援員の配置
- ◎ 夏季及び冬季休業中における「学習サポート」の実施
- ◎ 特別支援教育の充実を図るための支援員の配置
- ◎ 外国語教育の充実を図るための外国語指導助手の派遣

■置戸町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:19人)

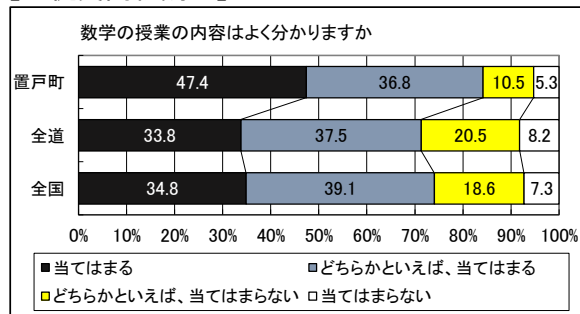
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

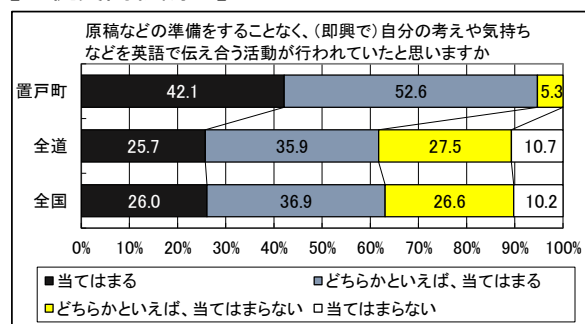
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



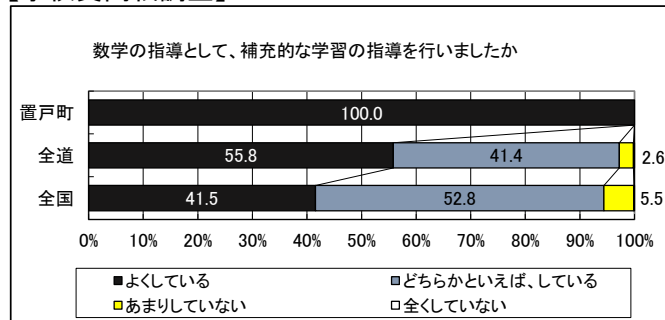
【生徒質問紙調査】



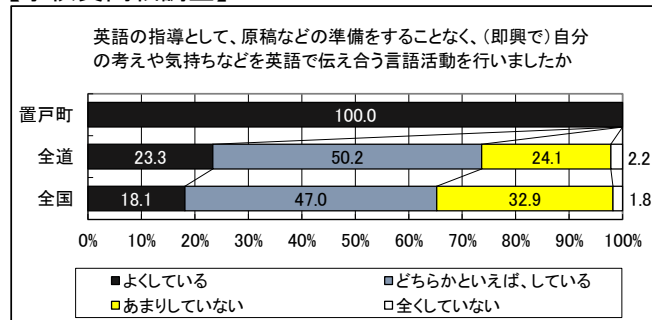
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国を上回り、「話すこと・聞くこと」で全国と同じである。 ○ 数学では、「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 学校は、数学の指導として、補充的な学習の指導を行ったことにより、「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回り、数学の「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 学校は、英語の指導として、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行ったことにより、生徒に学習内容が身に付き、英語の「聞くこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行った。 ○ 英語の指導として、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行った。	

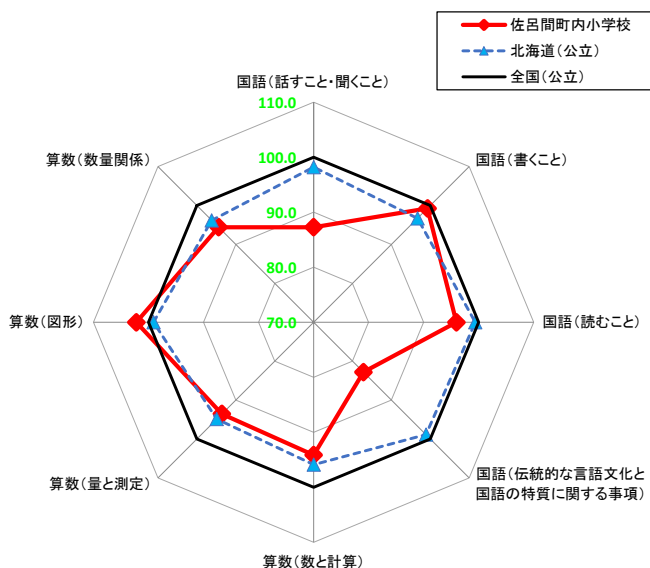
【置戸町の学力向上策】

- ◎ 夏季及び冬季休業中における「学習サポート」の実施
- ◎ 特別支援教育の充実を図るための支援員の配置
- ◎ 外国語教育の充実を図るための外国語指導助手の派遣

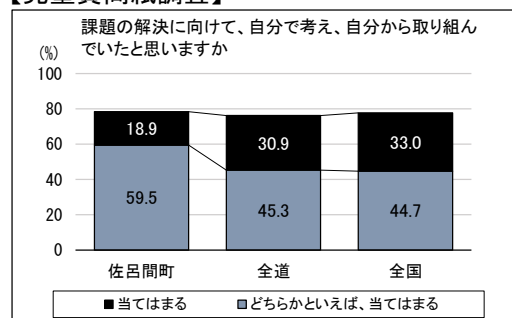
■佐呂間町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:37人)

【教科全体の状況】

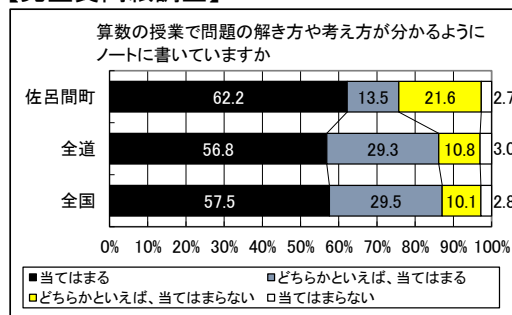
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



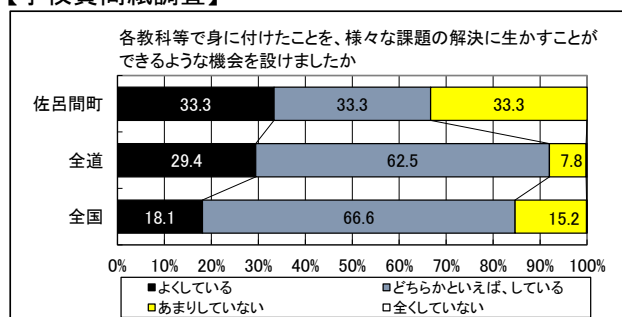
【児童質問紙調査】



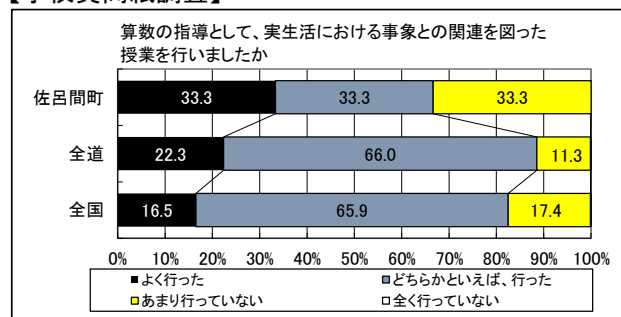
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「書くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国を上回っている。	○ 学校で、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けたことにより、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、児童の学習意欲の向上が図られ、算数の「図形」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【佐呂間町の学力向上策】

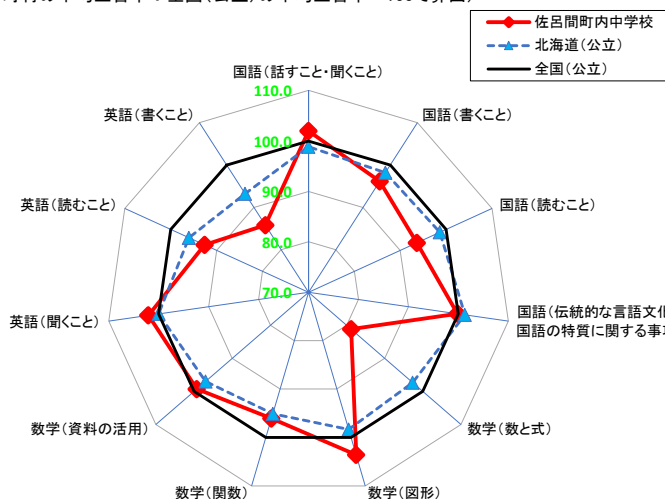
- ◎ 家庭学習の習慣化や長期休業中の補足的な学習サポートの実施、チャレンジテストの活用、学習規律の指導
- ◎ 教員の指導力向上のための各種研修会への参加奨励、指導主事訪問、ICT環境の有効活用
- ◎ 学力を向上させるための小学校・中学校・高等学校間の連携強化

■佐呂間町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:34人)

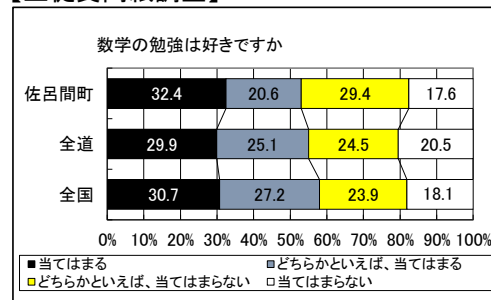
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

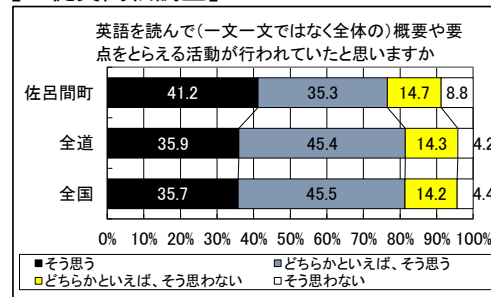
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



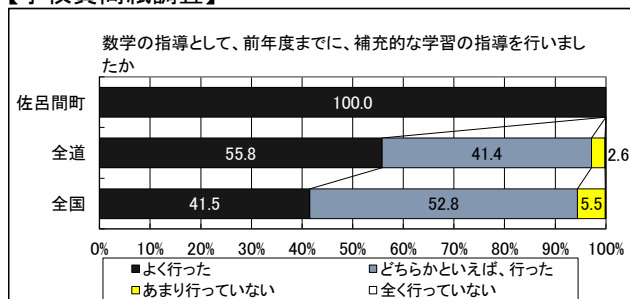
【生徒質問紙調査】



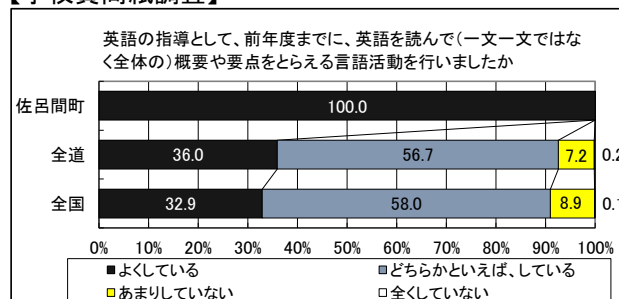
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「図形」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国を上回っている。	○ 学校は、数学の指導として、補的な学習の指導を行ったことにより、生徒の学習意欲が醸成され、数学の「図形」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 学校は英語の指導として、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動を行ったことにより、生徒の表現力が醸成され、英語の「聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 数学の指導として、補的な学習の指導を行った。 ○ 英語の指導として、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動を行った。	

【佐呂間町の学力向上策】

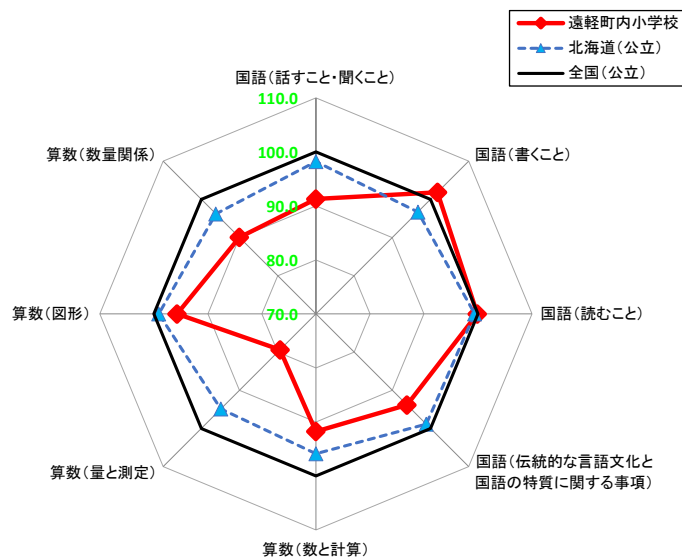
- ◎ 家庭学習の習慣化や長期休業中の補的な学習サポートの実施、チャレンジテストの活用、学習規律の指導
- ◎ 教員の指導力向上のための各種研修会への参加奨励、指導主事訪問、ICT環境の有効活用
- ◎ 学力を向上させるための小学校・中学校・高等学校間の連携強化

■遠軽町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:7校、児童数:143人)

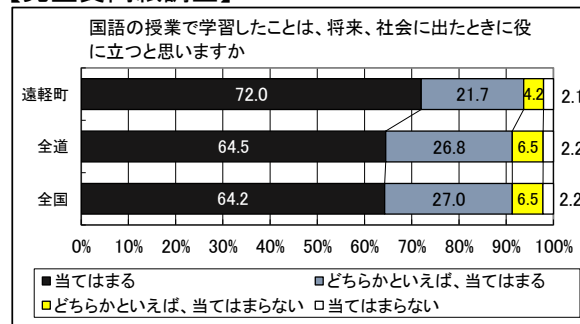
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

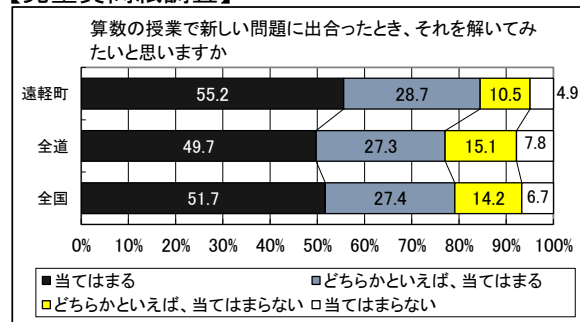
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



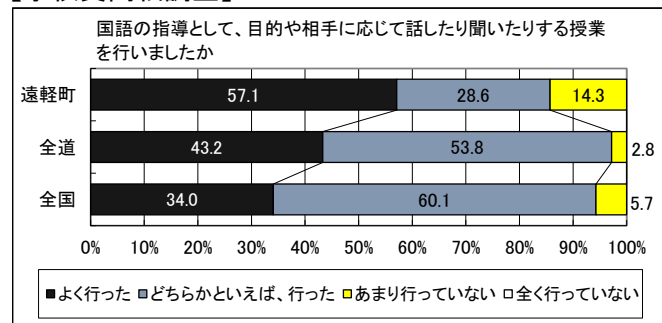
【児童質問紙調査】



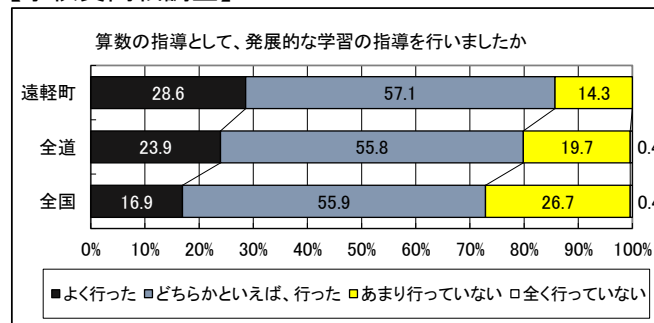
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「書くこと」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行ったことにより、実態を伴った理解が図られるとともに、有実感が高まり、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 算数の指導として、発展的な学習の指導を行ったことにより、児童の学習意欲が向上し、「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	
	○ 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
	○ 「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	
	○ 「算数の指導として、発展的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【遠軽町の学力向上策】

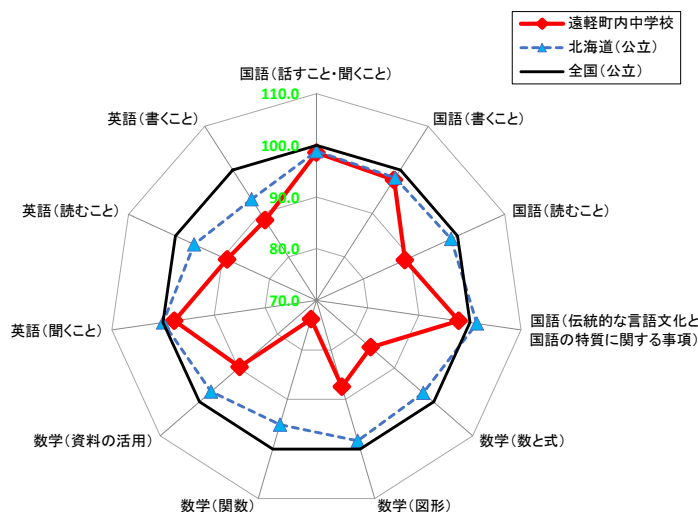
- ◎ コミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進
- ◎ 未来に誇れる文化や自然遺産、人材などの教育資源の活用
- ◎ 確かな学力の育成・定着を図るための教育用ICT機器の整備
- ◎ 外国語活動における言語や文化に対する理解を深めるための英語指導助手の配置

■遠軽町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:7校、生徒数:145人)

【教科全体の状況】

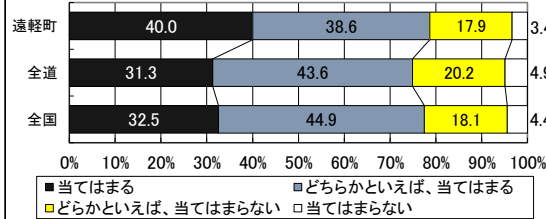
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



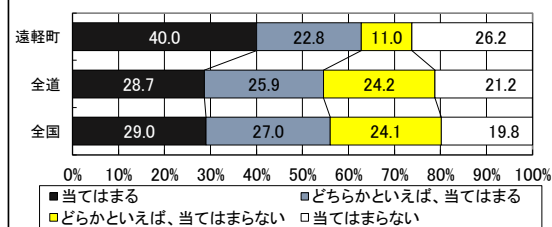
【生徒質問紙調査】

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか



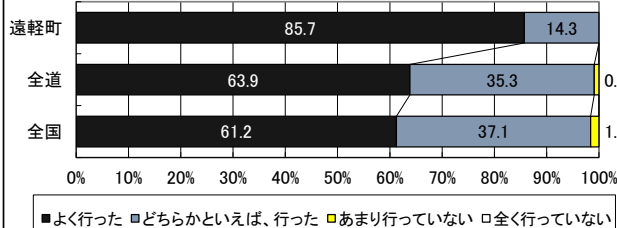
【生徒質問紙調査】

英語の勉強は好きですか



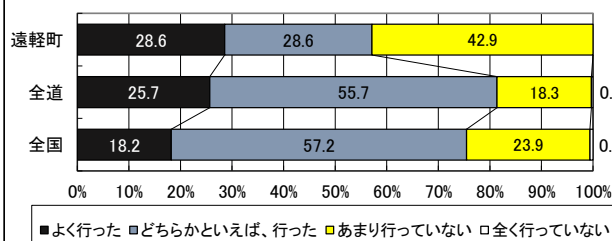
【学校質問紙調査】

国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか



【学校質問紙調査】

英語の指導として、発展的な学習の指導を行いましたか



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国に近づいている。 ○ 数学では、「資料の活用」で全国に近づいている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に近づいている。	○ 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行ったことにより、言葉の特徴や使い方に関する理解が深まり、「話すこと・聞くこと」において、全国に近づいたと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 英語の指導として、発展的な学習の指導を行ったことにより、生徒の学習意欲が向上し、「英語の勉強が好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「英語の指導として、発展的な学習の指導をよく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

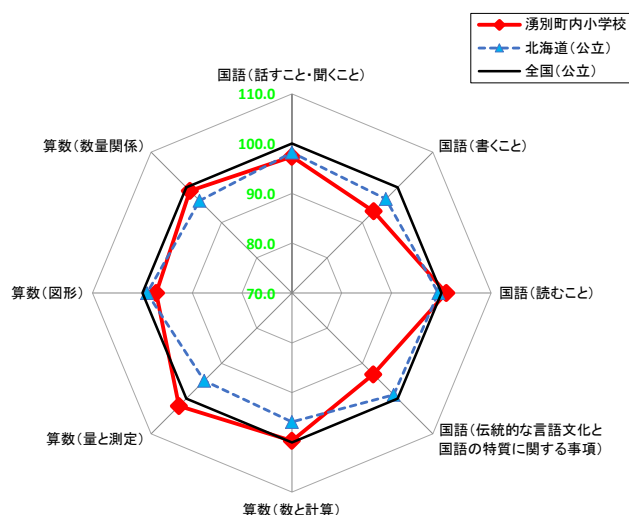
【遠軽町の学力向上策】

- ◎ コミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進
- ◎ 未来に誇れる文化や自然遺産、人材などの教育資源の活用
- ◎ 確かな学力の育成・定着を図るための教育用ICT機器の整備
- ◎ 外国語における言語や文化に対する理解を深めるための英語指導助手の配置

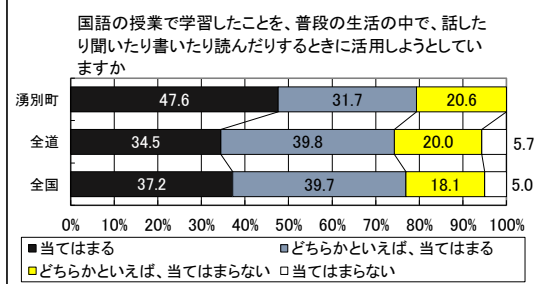
■湧別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、児童数:63人)

【教科全体の状況】

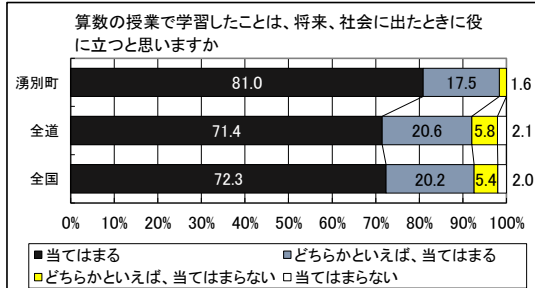
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



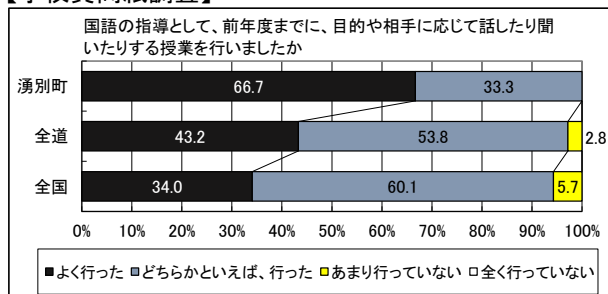
【児童質問紙調査】



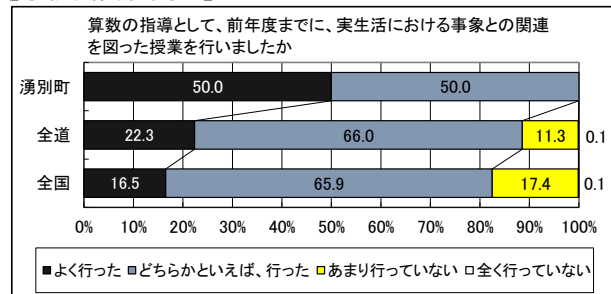
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「量と測定」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行ったことにより、思いや考えを伝える力が向上し、「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
児童質問紙	○ 「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、日常の事象を数理的に処理する力が身に付き、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

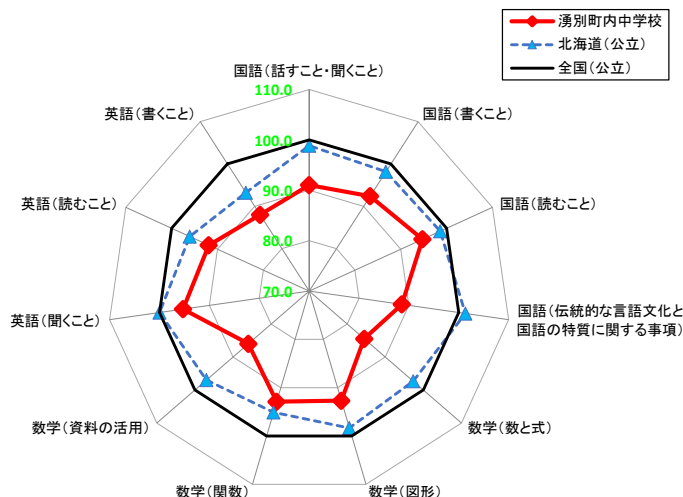
【湧別町の学力向上策】

- ◎ 各学校における学力向上改善プランの作成
- ◎ 全国学力・学習状況調査等を活用した授業改善や学習習慣の確立
- ◎ 発達障がい支援成果普及事業における発達障がいの児童の理解、校内研修プログラム活用事例集を活用した取組の充実
- ◎ 小学校における非常勤講師の配置の増員
- ◎ 長期休業を活用した高校生ボランティア学習サポート事業の実施
- ◎ ティーム・ティーチングによる指導や習熟度別少人数指導等を活用した学習内容の確実な定着
- ◎ 学校図書室支援事業による読書活動の推進

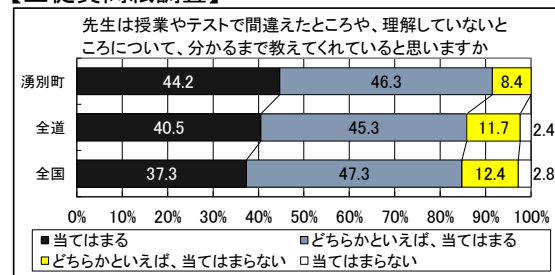
■湧別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:95人)

【教科全体の状況】

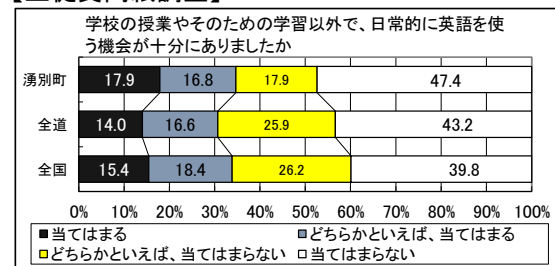
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



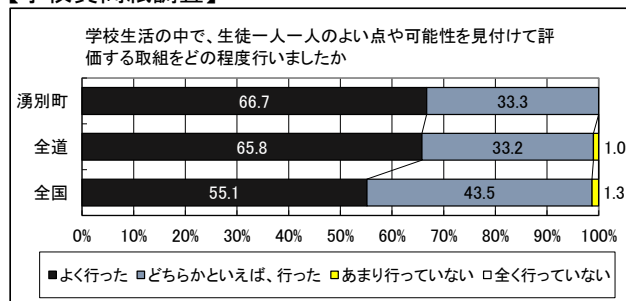
【生徒質問紙調査】



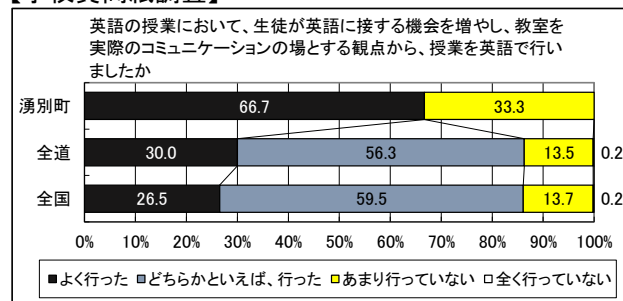
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学では、「関数」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 学校生活の中で、生徒一人一人の良い点や可能性を見付け評価する取組をよく行ったことにより、授業中における振り返りが充実し、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいます」と感じる生徒が増え、学習への意欲が向上したと考えられる。
生徒質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいます」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学校の授業やその他の学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にあり」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 英語の授業において、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、授業を英語でよく行ったことにより、学習への意欲が向上し、学校の授業やその他の学習以外で、日常的に英語を使う機会が増えたと考えられる。
学校質問紙	○ 「学校生活の中で、生徒一人一人の良い点や可能性を見付けて評価する取組をよく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「英語の授業において、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、授業を英語で行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【湧別町の学力向上策】

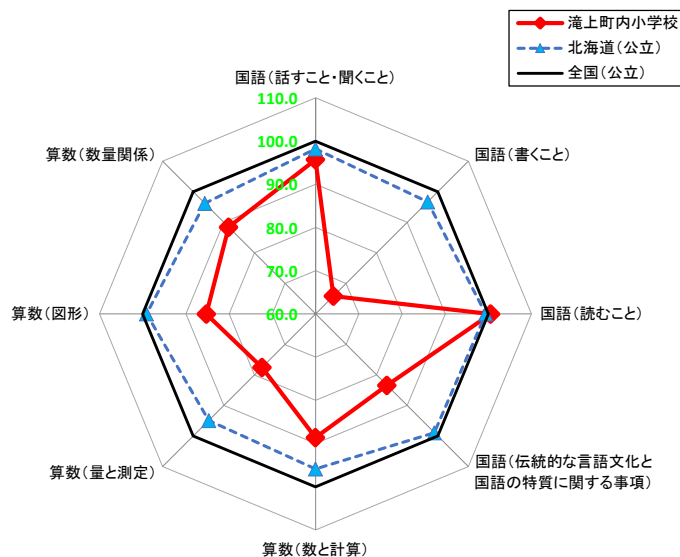
- ◎ 各学校における学力向上改善プランの作成
- ◎ 全国学力・学習状況調査等を活用した授業改善や学習習慣の確立
- ◎ 発達障がい支援成果普及事業における発達障がいの生徒の理解、校内研修プログラム活用事例集を活用した取組の充実
- ◎ ティーム・ティーチングによる指導や習熟度別少人数指導等を活用した学習内容の確実な定着
- ◎ 学校図書室支援事業による読書活動の推進

■滝上町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:13人)

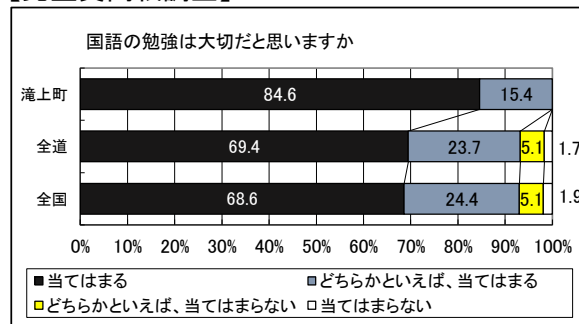
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

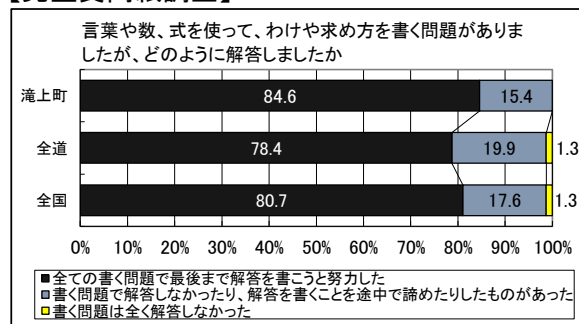
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



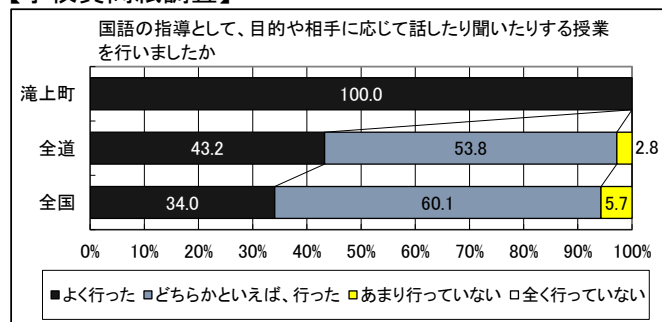
【児童質問紙調査】



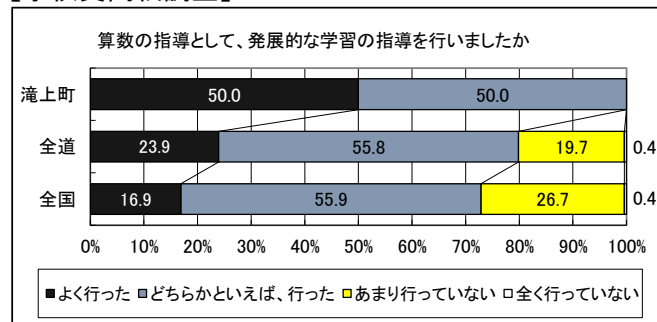
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「数と計算」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行ったことにより、児童の学習への理解が深まり、有用性を認識し、「国語の勉強は大切だと思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の勉強は大切だと思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題を全て最後まで解答を書こうと努力した」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、発展的な指導を行ったことにより、問題解決に積極的に取り組むようになり、「言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題を全て最後まで解答を書こうと努力した」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 全ての学校で、「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った」と回答している。 ○ 全ての学校で、「算数の指導として、発展的な学習の指導を行った」と回答し他学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

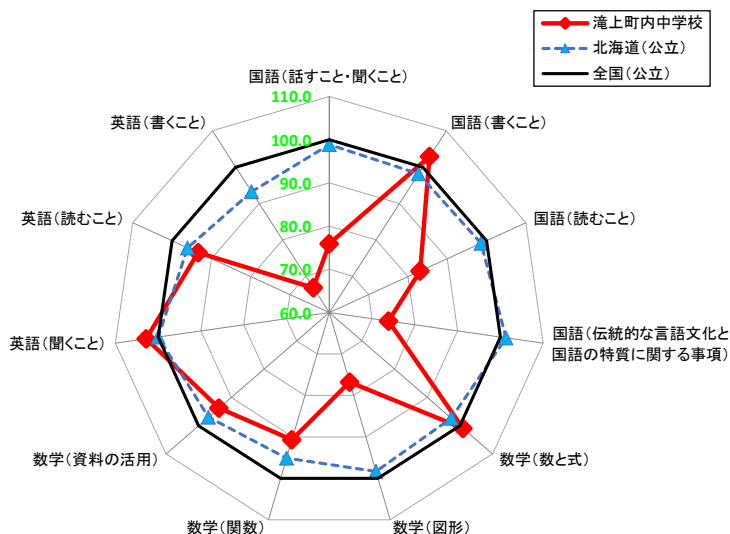
【滝上町の学力向上策】

- ◎ 学習意欲の向上に効果的なICT機器等の導入
- ◎ 長期休業中の学習サポートやほっかいどうチャレンジテストの効果的な活用
- ◎ 家庭学習習慣を身に付ける取組の推進
- ◎ 望ましい生活習慣の定着に向けた取組の推進

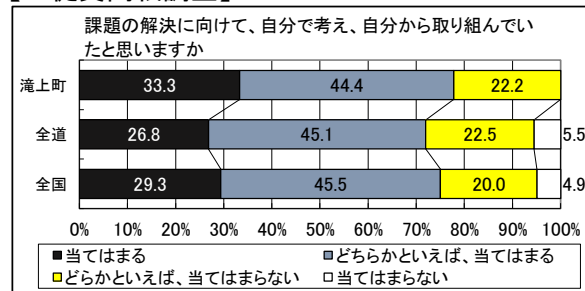
■滝上町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:10人)

【教科全体の状況】

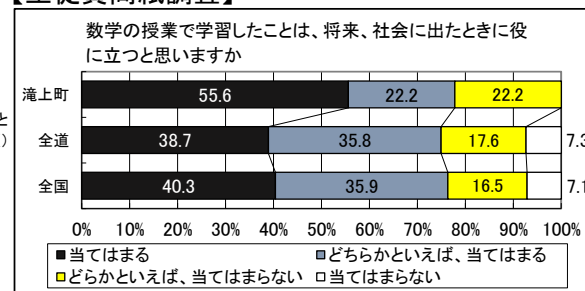
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



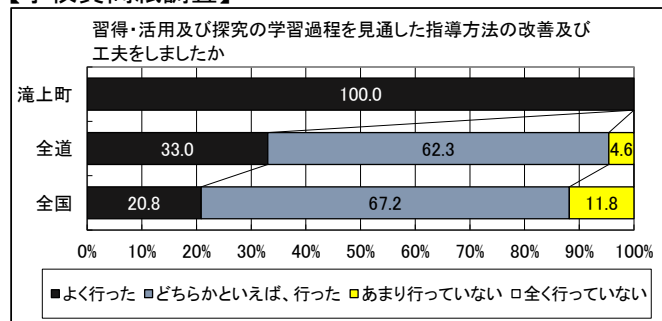
【生徒質問紙調査】



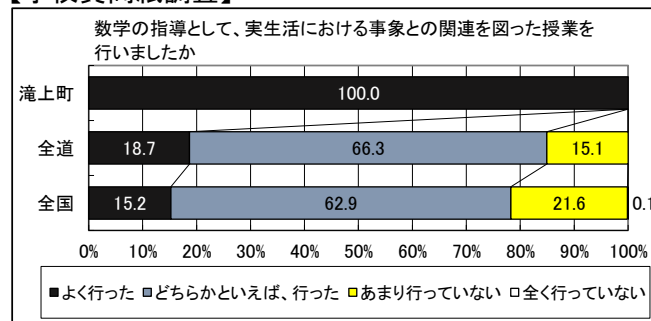
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「数と式」で全国を上回っている。	○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行ったことにより、問題解決型の指導の充実が図られ、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 英語では、「聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、日常の事象を数量や図形等との関係に着目して捉えるようになり、「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行っている。 ○ 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行っている。	

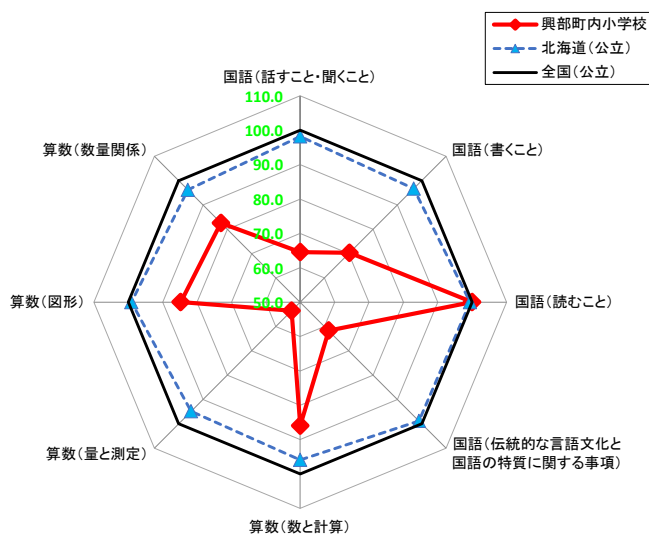
【滝上町の学力向上策】

- ◎ 長期休業中の学習サポートやほっかいどうチャレンジテストの効果的な活用
- ◎ 家庭学習習慣を身に付ける取組の推進
- ◎ 望ましい生活習慣の定着に向けた取組の推進

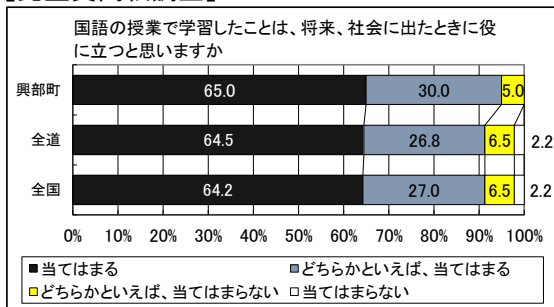
■興部町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:20人)

【教科全体の状況】

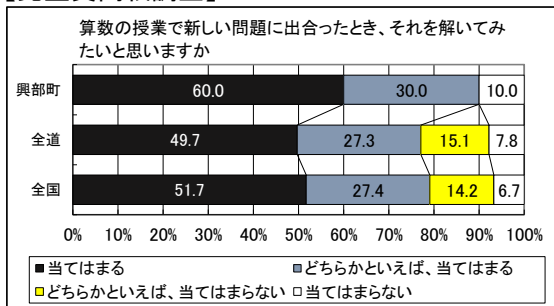
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



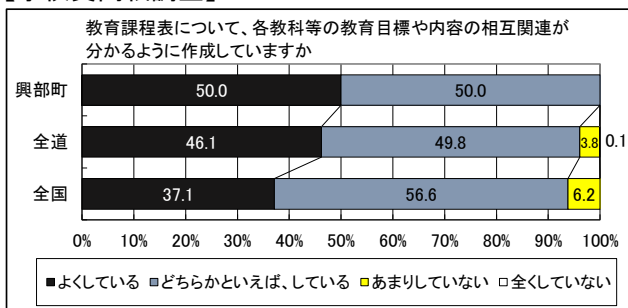
【児童質問紙調査】



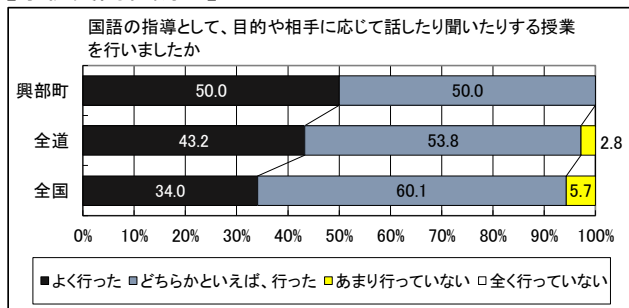
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国と同じである。 ○ 算数では、「数と計算」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行ったことにより、学習内容の理解が深まり、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 教育課程表について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成したことにより、授業改善が図られ、児童の問題解決に対する意欲が向上し、「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「教育課程表について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成している」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【興部町の学力向上策】

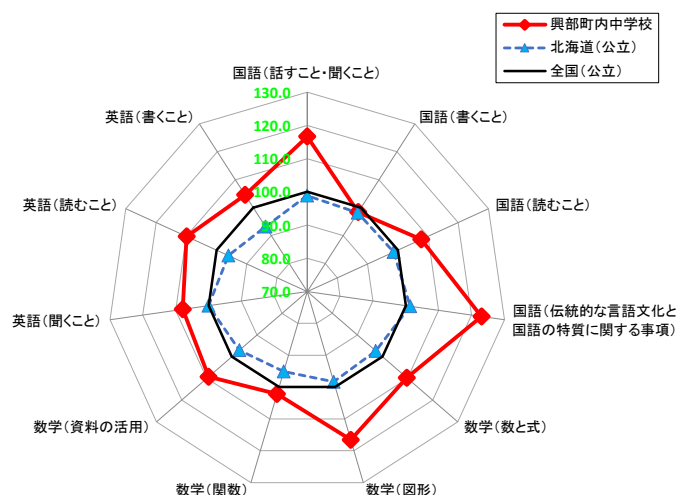
- ◎ 町の臨時教員の雇用による複式学級の解消と学力の維持向上
- ◎ 学生ボランティアを活用した補足的な学習サポートの実施
- ◎ 「家庭学習の手引」を活用した家庭での学習習慣の確立
- ◎ 知能検査や標準学力検査の実施による学習状況の把握と個に応じた指導の充実

■興部町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:24人)

【教科全体の状況】

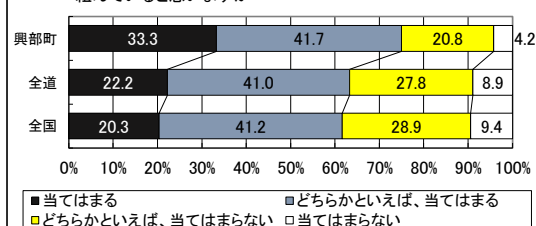
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



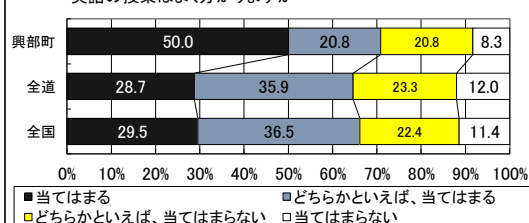
【生徒質問紙調査】

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか



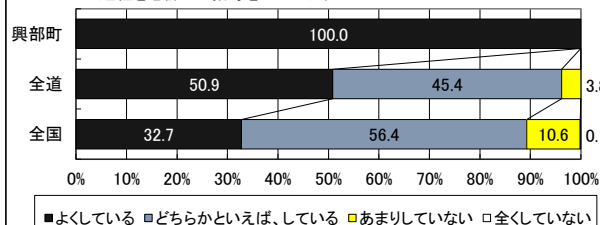
【生徒質問紙調査】

英語の授業はよく分かりますか



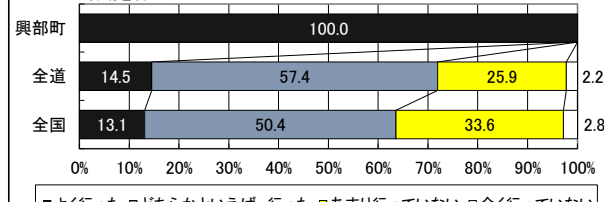
【学校質問紙調査】

総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか



【学校質問紙調査】

英語の指導として、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行いましたか



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 英語では、全ての領域で全国を上回っている。	○ 総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導を行ったことにより、横断的・総合的な学習の充実が図られ、「自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。
生徒質問紙	○ 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 英語の指導として、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行ったことにより、学習内容の理解が深まり、「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導を行っている。 ○ 英語の指導として、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行っている。	

【興部町の学力向上策】

- ◎ 学生ボランティアを活用した補足的な学習サポートの実施
- ◎ 「家庭学習の手引」を活用した家庭での学習習慣の確立
- ◎ 知能検査や標準学力検査の実施による学習状況の把握と個に応じた指導の充実

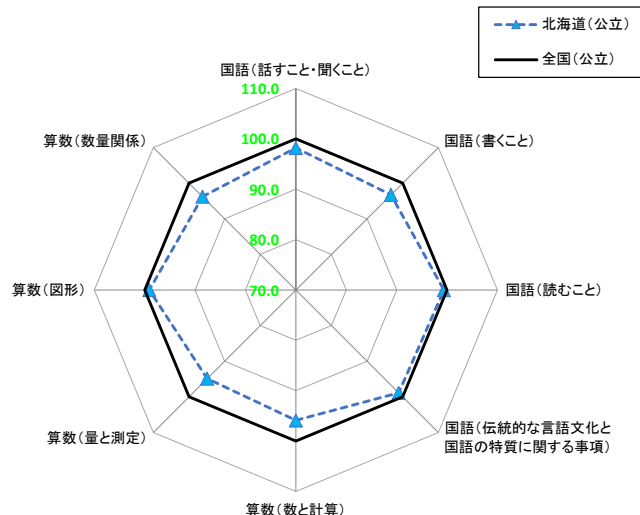
■西興部村内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:8人)

※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、西興部村の教科及び児童質問紙のデータは掲載していない。

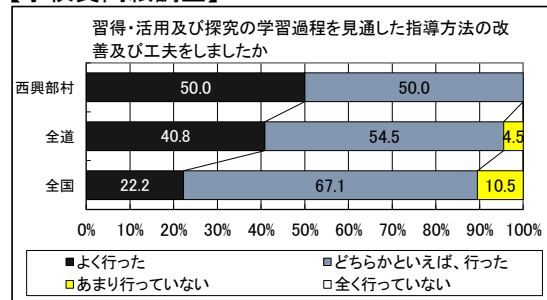
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

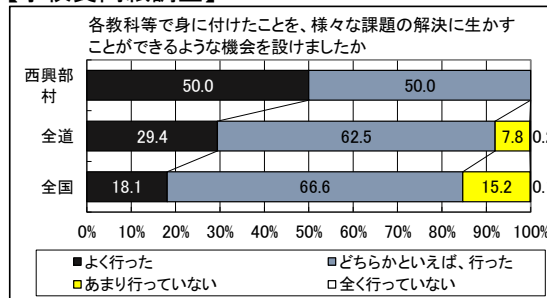
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



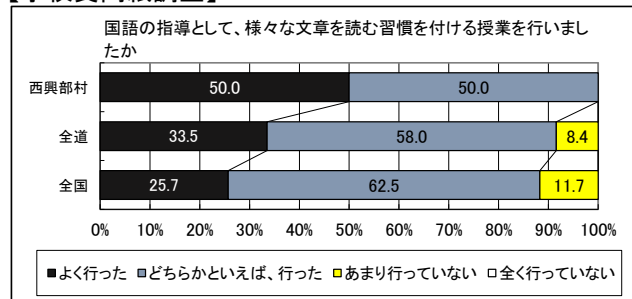
【学校質問紙調査】



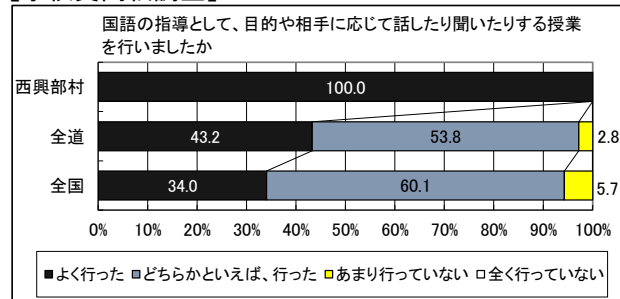
【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、西興部村の教科データは掲載していない。	
児童質問紙	※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、西興部村の児童質問紙のデータは掲載していない。	
学校質問紙	○ 「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った」回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 全ての学校で、「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った」と回答している。	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行ったことにより、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合が、増加したと考えられる。 ○ 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けたことにより、児童の問題解決への意欲が高まり、「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と回答した児童の割合が、増加したと考えられる。

【西興部村の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査等の結果を踏まえ、個に応じた指導の充実
- ◎ ICT環境の整備(教師用タブレットの導入、児童生徒用パソコンの更新等)
- ◎ 「わかる・できる」喜びや楽しさを実感できる授業改善
- ◎ 主体的な学習態度、思考力・判断力・表現力等を育む言語活動や読書活動の充実
- ◎ 英語指導助手の学校及びサークルへの派遣による英語教育の充実

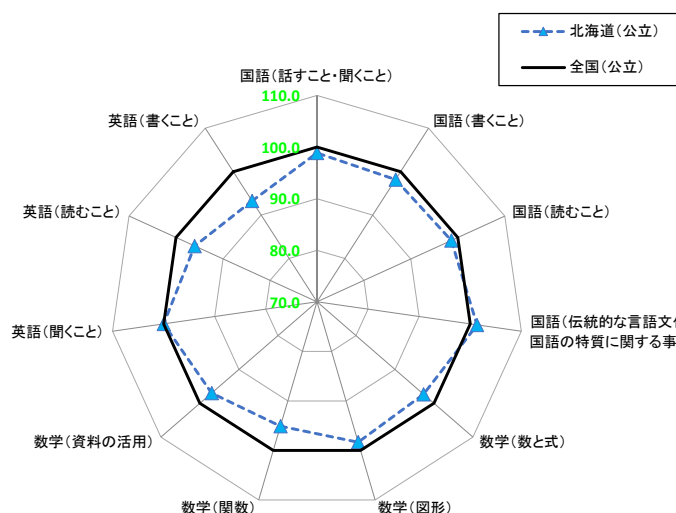
■西興部村内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:3人)

※ 生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、西興部村の教科及び生徒質問紙のデータは掲載していない。

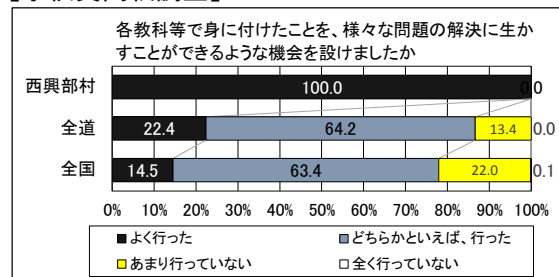
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

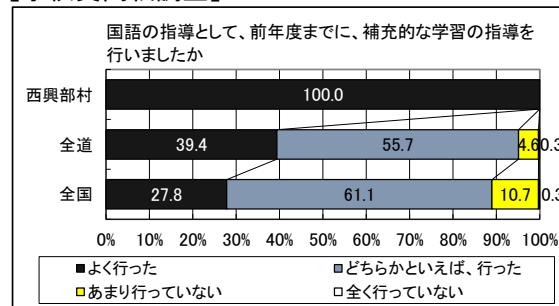
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



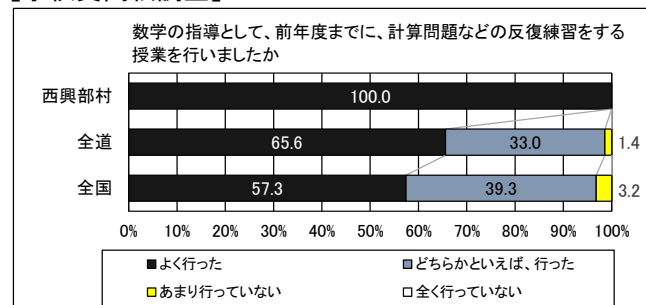
【学校質問紙調査】



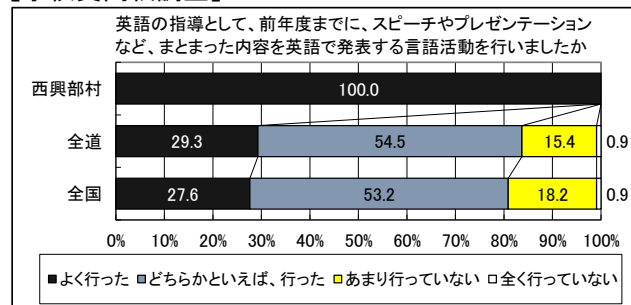
【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	※ 生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、西興部村の教科データは掲載していない。	
生徒質問紙	※ 生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、西興部村の生徒質問紙のデータは掲載していない。	
学校質問紙	○ 各教科等で身に付けたことを、様々な問題の解決に生かすことができるような機会を設けている。 ○ 国語の指導として、補充的な学習の指導を行っている。 ○ 数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行っている。 ○ 英語の指導として、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行っている。	○ 国語の指導として、補充的な学習の指導を行ったことにより、学習内容の理解が深まり、「国語の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、増加したと考えられる。 ○ 英語の指導として、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行ったことにより、言語の使用場面を意識する機会が増え、「原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちを伝え合う活動が行われていた」と回答した生徒の割合が、増加したと考えられる。

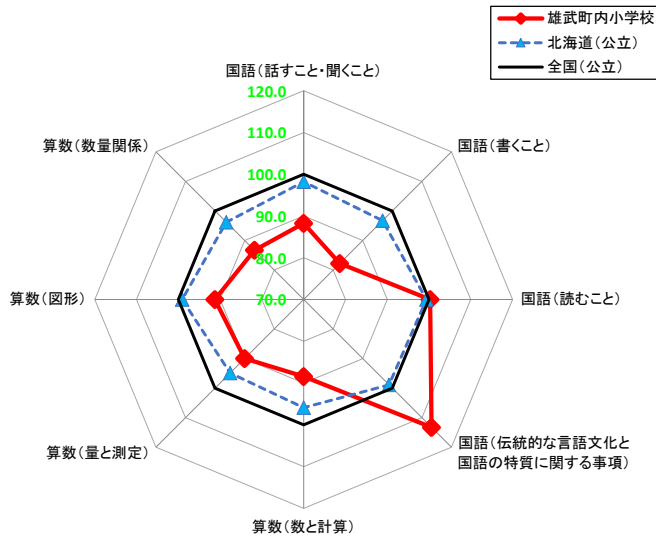
【西興部村の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査等の結果を踏まえ、個に応じた指導の充実
- ◎ ICT環境の整備(教師用タブレットの導入、児童生徒用パソコンの更新等)
- ◎ 「わかる・できる」喜びや楽しさを実感できる授業改善
- ◎ 主体的な学習態度、思考力・判断力・表現力等を育む言語活動や読書活動の充実
- ◎ 英語指導助手の学校及びサークルへの派遣による英語教育の充実

■雄武町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:35人)

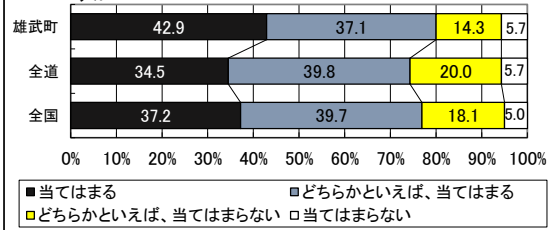
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



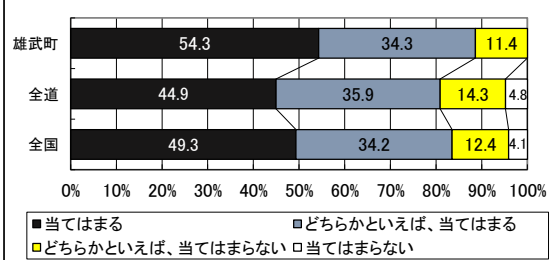
【児童質問紙調査】

国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用していますか



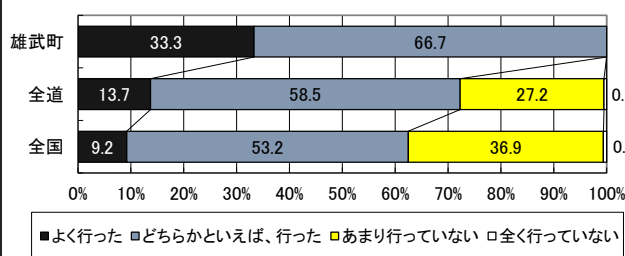
【児童質問紙調査】

算数の授業の内容はよく分かりますか



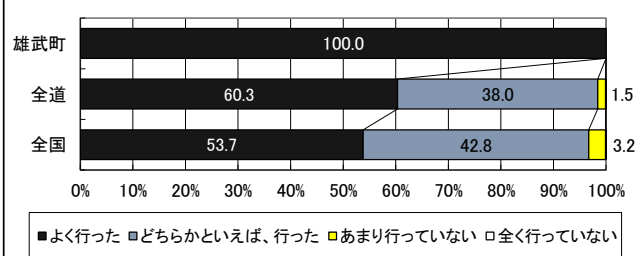
【学校質問紙調査】

国語の指導として、発展的な学習の指導を行いましたか



【学校質問紙調査】

算数の指導として、補充的な学習の指導を行いましたか



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、発展的な学習の指導を行ったことにより、「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用している」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用している」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 全ての学校において、算数の指導として、補充的な学習の指導を行ったことにより、「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、発展的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 全ての学校で、「算数の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答している。	

【雄武町の学力向上策】

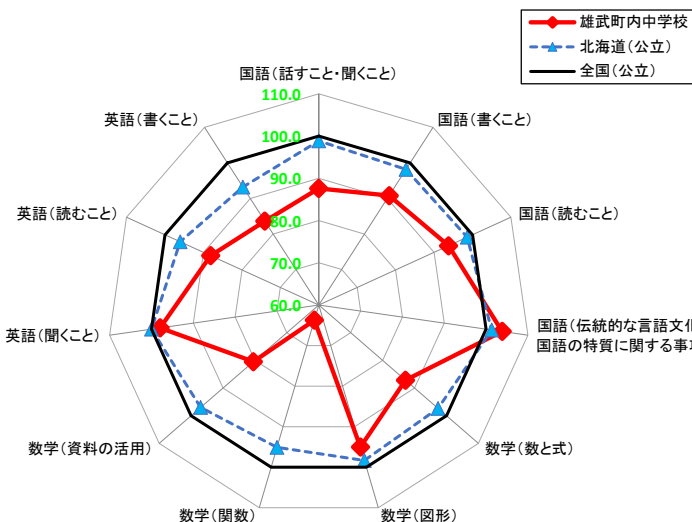
- ◎ 全国学力・学習状況調査等の分析結果を踏まえた「学校改善プラン」の策定
- ◎ 授業改善及び家庭学習習慣の確立
- ◎ 学習規律の徹底及び授業のねらいや課題を明確にした問題解決的な学習の充実
- ◎ 教職員の自主的研修活動を奨励する教職員教育振興事業等の推進

■雄武町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:32人)

【教科全体の状況】

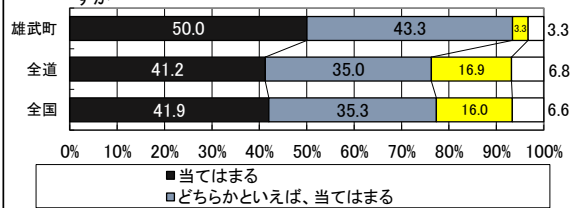
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



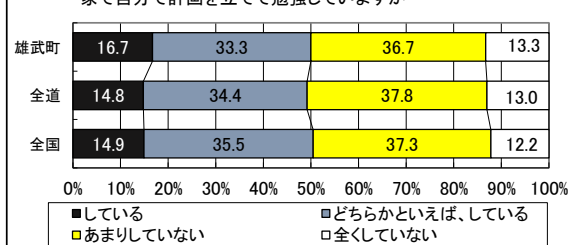
【生徒質問紙調査】

英語の授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか



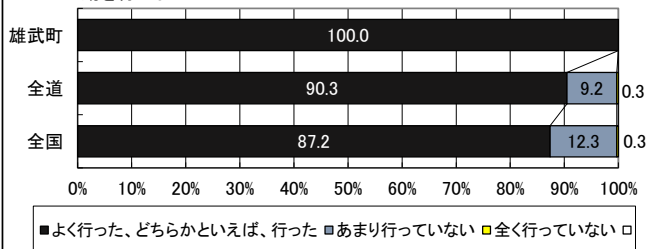
【生徒質問紙調査】

家で自分で計画を立てて勉強していますか



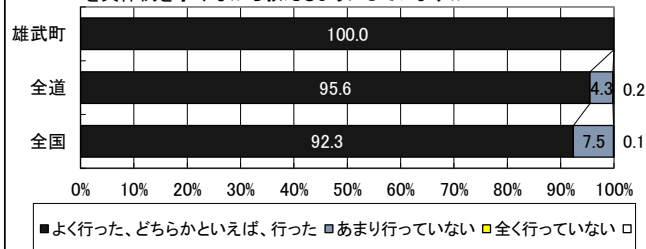
【学校質問紙調査】

英語の指導として、英語を聞いて概要や要点をとらえる言語活動を行いましたか



【学校質問紙調査】

家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしていますか



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 学校において、家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしたことにより、「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「英語の授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 英語の指導として、英語を聞いて概要や要点をとらえる言語活動を行ったことにより、コミュニケーション能力が向上し、英語の「聞くこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 英語の指導として、英語を聞いて概要や要点をとらえる言語活動を行っている。 ○ 家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしている。	

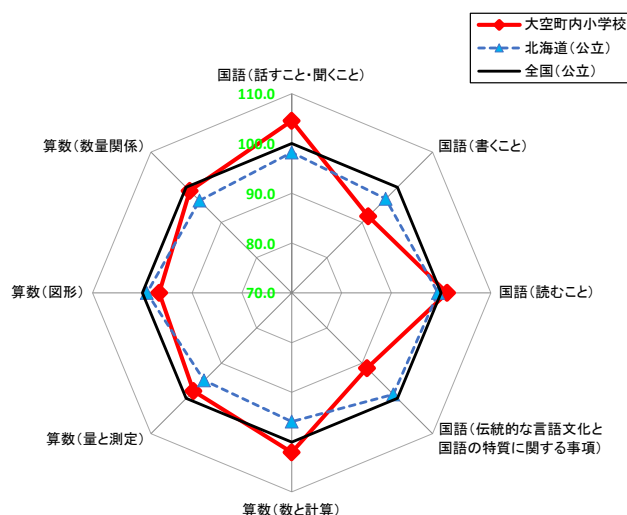
【雄武町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査等の分析結果を踏まえた「学校改善プラン」の策定
- ◎ 授業改善及び家庭学習習慣の確立
- ◎ 学習規律の徹底及び授業のねらいや課題を明確にした問題解決的な学習の充実
- ◎ 教職員の自主的研修活動を奨励する教職員教育振興事業等の推進

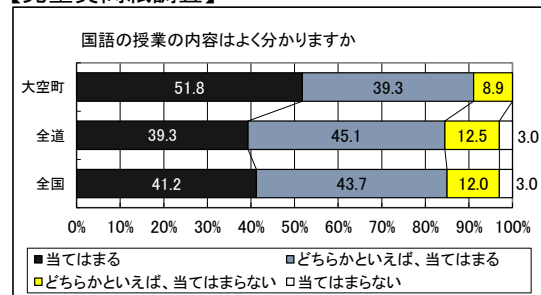
■大空町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:56人)

【教科全体の状況】

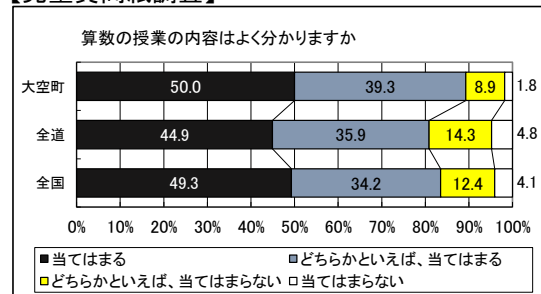
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



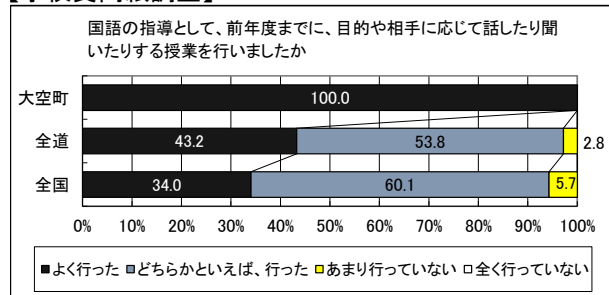
【児童質問紙調査】



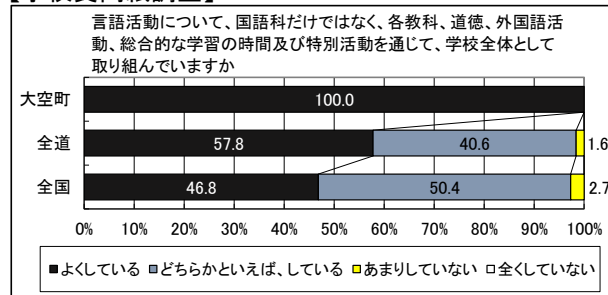
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行うなど、学校全体で言語活動の充実に取り組んだことにより、「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が増加し、国語の「話すこと・聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 算数では、「数と計算」で全国を上回っている。 ○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだことにより、算数科でも言語活動の充実が図られ、「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が増加し、算数の「数と計算」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 全ての学校で、「国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った」と回答している。 ○ 全ての学校で、「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答している。	

【大空町の学力向上策】

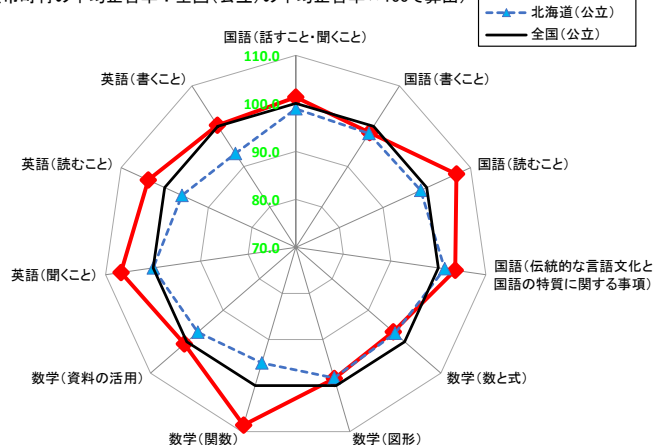
- ◎ 少人数指導・習熟度別指導やチーム・ティーチング、長期休業中の補充学習(学習サポート体制)など、一人一人に対応したきめ細かな指導の充実
- ◎ 全国学力・学習状況調査結果を基にした学校改善プランの策定による学習指導の工夫・改善
- ◎ 家庭学習・宿題など、全校統一した取組による家庭における児童の学習習慣の定着
- ◎ タブレットや実物投影機などのICT機器を活用した児童が分かる授業の実践
- ◎ 指導主事の配置による学力向上対策をはじめとした学校・教職員へのきめ細かな指導の充実
- ◎ 学校図書館司書の巡回配置による読書活動の推進及びプレゼンテーション能力の育成

■大空町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:87人)

【教科全体の状況】

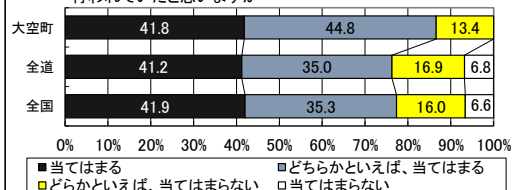
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



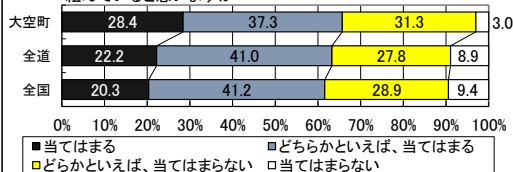
【生徒質問紙調査】

1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか



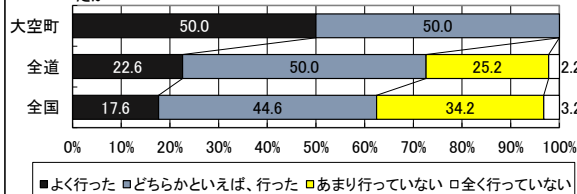
【生徒質問紙調査】

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか



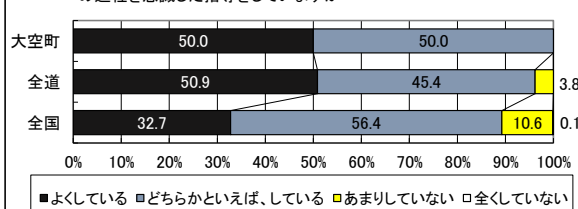
【学校質問紙調査】

英語の指導として、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか



【学校質問紙調査】

総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「関数」「資料の活用」で全国を上回っている。	○ 英語の指導として、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行ったことにより、英語の全ての領域において全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 英語では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 「1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導を行ったことにより、各教科等で身に付けた資質・能力を適切に活用する学習活動が充実し、国語の「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学の「関数」「資料の活用」及び英語の全領域において全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「英語の指導として、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をした」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。	

【大空町の学力向上策】

- ◎ 少人数指導・習熟度別指導やチーム・ティーチング、長期休業中の補充学習(学習サポート体制)など、一人一人に対応したきめ細かな指導の充実
- ◎ 全国学力・学習状況調査結果を基にした学校改善プランの策定による学習指導の工夫・改善
- ◎ 家庭学習・宿題など、全校統一した取組による家庭における生徒の学習習慣の定着
- ◎ タブレットや実物投影機などのICT機器を活用した生徒が分かる授業の実践
- ◎ 指導主事の配置による学力向上対策をはじめとした学校・教職員へのきめ細かな指導の充実
- ◎ 学校図書館司書の巡回配置による読書活動の推進及びプレゼンテーション能力の育成